

(案)

米原市人権意識調査（2017年度）報告書

米原市総務部人権政策課

平成30年8月

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、市民の人権問題に関する意識のありようを把握し、さまざまな人権課題の解決に向けた施策を推進するための基本計画を策定するとともに、市民への人権教育・啓発を進めるための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2 調査項目

- (1) 男女平等についての見方
- (2) 人権侵害に該当する事象
- (3) 人権侵害について
- (4) 同和問題に関する発言
- (5) 同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚に対する態度
- (6) 子どもの人権について
- (7) 外国人の人権について
- (8) 家族に関わる人権について
- (9) 憲法に定められた国民の権利
- (10) 人権の視点から問題のある行為について
- (11) 外国人を含む「人権尊重のまちづくり」施策の認知状況
- (12) 学校での人権教育について
- (13) インターネットの利用状況
- (14) インターネット上での書き込みについて
- (15) 「ハートフル・フォーラム」について
- (16) 米原市の人権施策等の認知状況

3 調査設計

調査対象：米原市に居住している満 18 歳以上の人口から、市内の性別・年齢別構成を考慮し、2,000 人を層化抽出した。

調査期間：2017 年 9 月 11 日（月）から 9 月 30 日（土）まで（最終受付は 10 月 24 日まで）

調査方法：郵送調査法

4 回収状況

調査票の回収状況は、以下のとおりである。

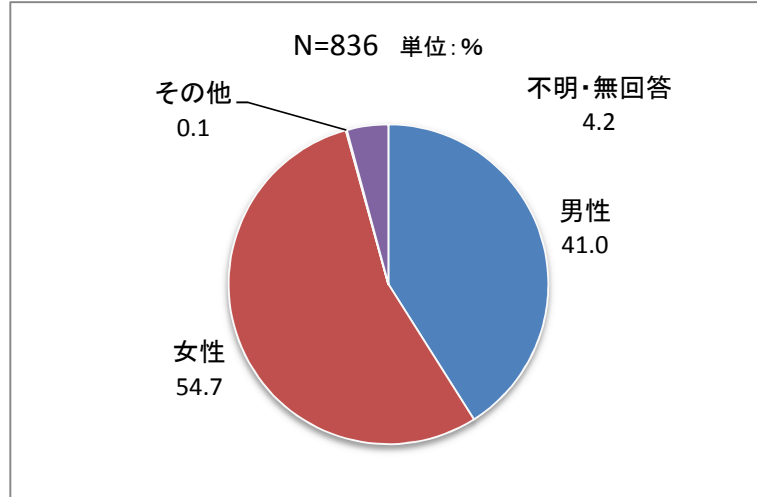
		回収数	有効 回収率(%)
総数		836	41.8
性別	男性	343	34.7
	女性	457	45.2
年齢別	29歳以下	70	22.4
	30歳代	87	30.0
	40歳代	112	33.0
	50歳代	148	46.0
	60歳代	191	55.0
	70歳代以上	213	54.6

5 報告書の見方

- ② 図表に「N」と示してあるのは、回答者総数（集計対象者総数）である。
- ② 回答比率（%）は、回答者総数（N）を100%として算出している。小数点以下第2位を四捨五入しており、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても、100.0%にならない場合がある。
- ③ 図表中の「MA」（Multiple Answer の略）の表記は、複数回答形式であることを示しており、この場合、回答比率（%）の計は100.0%を超える。
- ④ 図表中において「不明・無回答」とあるのは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。
- ⑤ 「性別」を問う設問については、選択肢を「男性」「女性」「その他」とした。性別の選択肢に「その他」を加えたのは、自分の性別を「男性」でも「女性」でもないと考える市民がいることに配慮したからである。回収した調査票で、性別を「その他」にした回答者は1人いたが、調査結果を「男性」「女性」「その他」で表示すると、性別を「その他」とした回答者の各設問への回答状況がそのまま出てしまうため、性別による調査結果の表示は「男性」「女性」とし、「その他」は表示しないことにした。
- ⑥ 回答者総数（N）が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることが難しいので、おおよその回答の傾向をみることにとどめた。
- ⑦ 問2、問6、問8、問10の各設問については、市民の人権に対する考えを総合的に把握するために「平均評価点」を示している。各設問の回答選択肢に重みづけをする得点を与え、その合計を回答者数で除することで平均点を算出し（具体的な算出方法与得点は該当ページを参照）、この得点の大小により、市民の人権に対する意識の高低、偏りの度合いを分析することに用いている。

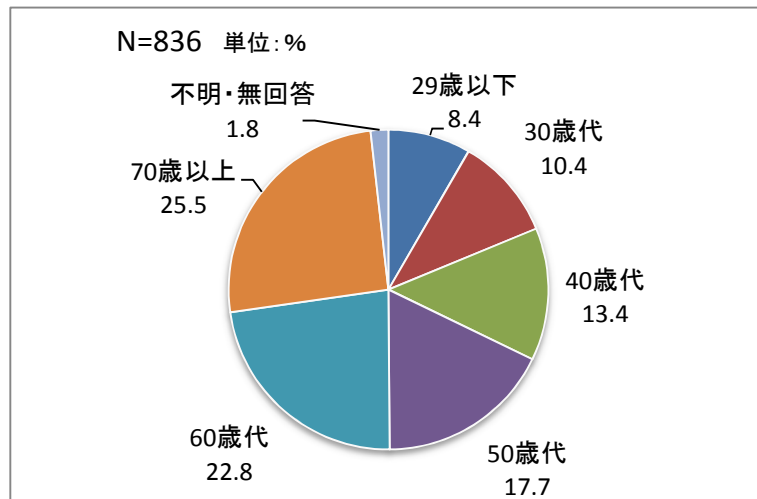
II 回答者の属性

1 性別



性別では「女性」が多く、その割合は「男性」を 13.7 ポイント上回っている。「その他」は 0.1% (1 人) で、「不明・無回答」が 35 人あった。

2 年齢別



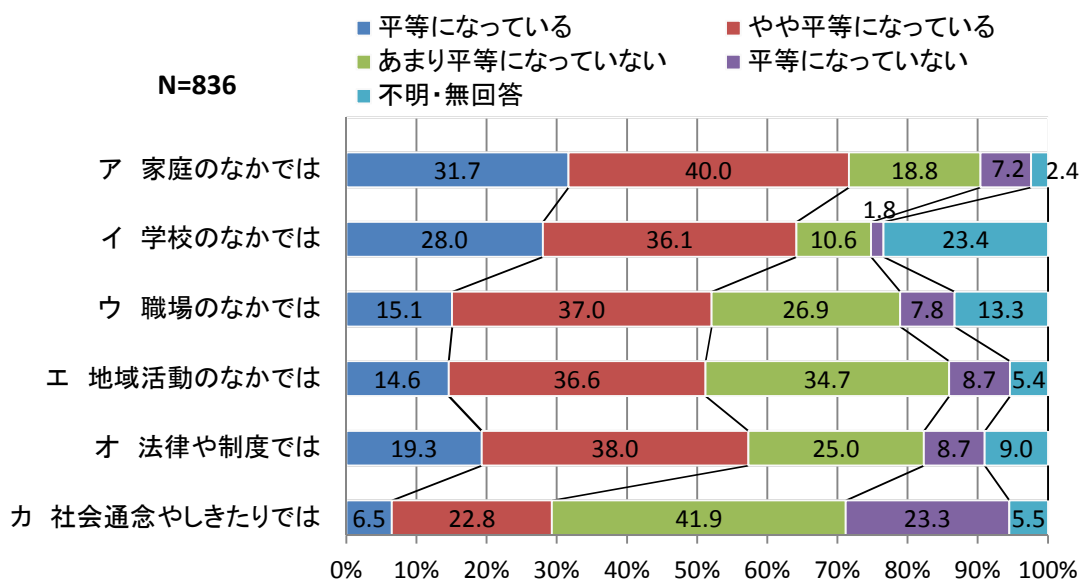
「70 歳以上」の割合が 25.5%と高く、「60 歳代」(22.8%)、「50 歳代」(17.7%) がつく。「29 歳以下」は 8.4%と、低くなっている。これは「女性」が多いことと同様、年齢の高い市民からの回収率が高かったためで、今回の調査結果は、女性ならびに 60 歳以上の回答傾向がやや強くあらわれているといえる。なお、年齢について「不明・無回答」は 15 人であった。

Ⅲ 調査結果

1 男女平等についての見方

問1 あなたは、次のような面で、男性と女性の地位が平等になっていると思いますか。(それぞれ1つだけに○)

[図1 - 1 男女平等についての見方]



「平等になっている」の割合は、「ア 家族のなかでは」と「イ 学校のなかでは」で高く、「カ 社会通念やしきたりでは」で低い。また、「ウ 職場のなかでは」「エ 地域活動のなかでは」「オ 法律や制度では」については、「平等になっている」の割合が 20%を下回っている。「平等になっていない」の割合は、「カ 社会通念やしきたりでは」で高く (23.3%)、「イ 学校のなかでは」で低い (1.8%)。

[表1 - 1 男女平等についての見方 (性・年齢別) ①]

ア 家庭のなかでは

		回答者数	いる平等になつて	なやなつて平等に	なあつてりいな等に	いな平等になつて	不明・無回答
総数		836 100.0	265 31.7	334 40.0	157 18.8	60 7.2	20 2.4
性別	男性	343 100.0	140 40.8	128 37.3	55 16.0	12 3.5	8 2.3
	女性	457 100.0	118 25.8	195 42.7	94 20.6	44 9.6	6 1.3
年齢別	29歳以下	70 100.0	30 42.9	26 37.1	11 15.7	3 4.3	—
	30歳代	87 100.0	31 35.6	27 31.0	19 21.8	10 11.5	—
	40歳代	112 100.0	33 29.5	42 37.5	24 21.4	13 11.6	—
	50歳代	148 100.0	38 25.7	65 43.9	34 23.0	11 7.4	—
	60歳代	191 100.0	58 30.4	88 46.1	29 15.2	12 6.3	4 2.1
	70歳以上	213 100.0	73 34.3	81 38.0	38 17.8	10 4.7	11 5.2

イ 学校のなかでは (上段:人、下段:%)

		回答者数	いる平等になつて	なやなつて平等に	なあつてりいな等に	いな平等になつて	不明・無回答
総数		836 100.0	234 28.0	302 36.1	89 10.6	15 1.8	196 23.4
性別	男性	343 100.0	108 31.5	120 35.0	31 9.0	9 2.6	75 21.9
	女性	457 100.0	121 26.5	170 37.2	56 12.3	6 1.3	104 22.8
年齢別	29歳以下	70 100.0	26 37.1	30 42.9	11 15.7	1 1.4	2 2.9
	30歳代	87 100.0	32 36.8	34 39.1	13 14.9	—	8 9.2
	40歳代	112 100.0	31 27.7	51 45.5	15 13.4	2 1.8	13 11.6
	50歳代	148 100.0	39 26.4	58 39.2	24 16.2	6 4.1	21 14.2
	60歳代	191 100.0	59 30.9	58 30.4	16 8.4	3 1.6	55 28.8
	70歳以上	213 100.0	47 22.1	67 31.5	10 4.7	3 1.4	86 40.4

ウ 職場のなかでは

		回答者数	いる平等になつて	なやなつて平等に	なあつてりいな等に	いな平等になつて	不明・無回答
総数		836 100.0	126 15.1	309 37.0	225 26.9	65 7.8	111 13.3
性別	男性	343 100.0	67 19.5	126 36.7	84 24.5	28 8.2	38 11.1
	女性	457 100.0	55 12.0	170 37.2	136 29.8	36 7.9	60 13.1
年齢別	29歳以下	70 100.0	16 22.9	30 42.9	17 24.3	5 7.1	2 2.9
	30歳代	87 100.0	20 23.0	25 28.7	27 31.0	13 14.9	2 2.3
	40歳代	112 100.0	18 16.1	44 39.3	37 33.0	12 10.7	1 0.9
	50歳代	148 100.0	29 19.6	54 36.5	49 33.1	15 10.1	1 0.7
	60歳代	191 100.0	25 13.1	81 42.4	50 26.2	12 6.3	23 12.0
	70歳以上	213 100.0	17 8.0	70 32.9	44 20.7	8 3.8	74 34.7

エ 地域活動のなかでは (上段:人、下段:%)

		回答者数	いる平等になつて	なやなつて平等に	なあつてりいな等に	いな平等になつて	不明・無回答
総数		836 100.0	122 14.6	306 36.6	290 34.7	73 8.7	45 5.4
性別	男性	343 100.0	66 19.2	134 39.1	97 28.3	33 9.6	13 3.8
	女性	457 100.0	51 11.2	161 35.2	183 40.0	39 8.5	23 5.0
年齢別	29歳以下	70 100.0	15 21.4	28 40.0	20 28.6	6 8.6	1 1.4
	30歳代	87 100.0	13 14.9	27 31.0	38 43.7	9 10.3	—
	40歳代	112 100.0	6 5.4	45 40.2	45 40.2	13 11.6	3 2.7
	50歳代	148 100.0	18 12.2	39 26.4	71 48.0	18 12.2	2 1.4
	60歳代	191 100.0	28 14.7	81 42.4	58 30.4	15 7.9	9 4.7
	70歳以上	213 100.0	41 19.2	82 38.5	56 26.3	11 5.2	23 10.8

[表1 - 1 男女平等についての見方（性・年齢別）②]

		オ 法律や制度では					カ 社会通念やしきたりでは(上段:人、下段:%)						
		回答者数	い平等になっている	なやあってい	なあってい	いなになって	不明・無回答	回答者数	い平等になっている	なやあってい	なあってい	いなになって	不明・無回答
総数		836 100.0	161 19.3	318 38.0	209 25.0	73 8.7	75 9.0	836 100.0	54 6.5	191 22.8	350 41.9	195 23.3	46 5.5
性別	男性	343 100.0	95 27.7	129 37.6	69 20.1	29 8.5	21 6.1	343 100.0	25 7.3	95 27.7	138 40.2	73 21.3	12 3.5
	女性	457 100.0	59 12.9	179 39.2	133 29.1	41 9.0	45 9.8	457 100.0	24 5.3	86 18.8	202 44.2	120 26.3	25 5.5
年齢別	29歳以下	70 100.0	17 24.3	23 32.9	18 25.7	11 15.7	1 1.4	70 100.0	12 17.1	21 30.0	23 32.9	13 18.6	1 1.4
	30歳代	87 100.0	15 17.2	26 29.9	31 35.6	13 14.9	2 2.3	87 100.0	5 5.7	12 13.8	38 43.7	30 34.5	2 2.3
	40歳代	112 100.0	16 14.3	44 39.3	36 32.1	12 10.7	4 3.6	112 100.0	4 3.6	21 18.8	53 47.3	31 27.7	3 2.7
	50歳代	148 100.0	23 15.5	60 40.5	47 31.8	16 10.8	2 1.4	148 100.0	5 3.4	23 15.5	68 45.9	51 34.5	1 0.7
	60歳代	191 100.0	43 22.5	79 41.4	42 22.0	9 4.7	18 9.4	191 100.0	15 7.9	46 24.1	90 47.1	32 16.8	8 4.2
	70歳以上	213 100.0	45 21.1	83 39.0	33 15.5	11 5.2	41 19.2	213 100.0	12 5.6	64 30.0	74 34.7	37 17.4	26 12.2

性別で見ると、いずれの項目でも「平等になっている」は男性のほうが多く、とくに「ア 家庭のなかでは」については、「平等になっている」の男性の割合が女性を15ポイントも上回っている。

年齢別にみると、「ウ 職場のなかでは」を除き、「平等になっている」はいずれも29歳以下で多く、なかでも「カ 社会通念やしきたりでは」については、「平等になっている」の割合が、他の年齢層ではいずれも10%を下回っているのに対し、29歳以下では17.1%となっている。逆に「平等になっている」の割合が低いのは、「イ 学校のなかでは」と「ウ 職場のなかでは」を除き、40歳代と50歳である。

[表 1 - 2 男女平等についての見方 (経年比較)]

(単位: %)

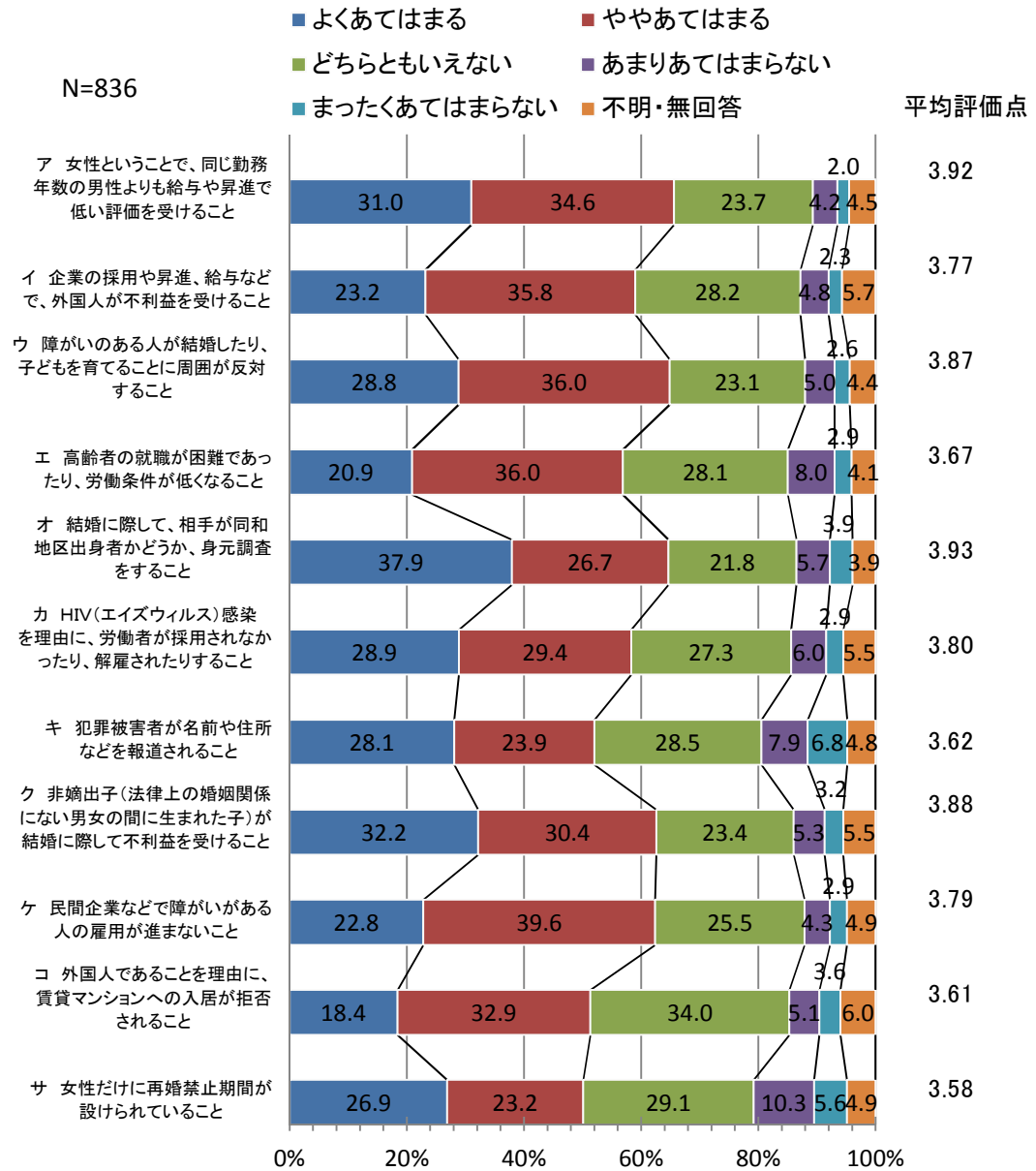
		い 平 等 に な っ て	な や っ や て 平 等 に な る	な あ っ ま て り 平 等 に	い 平 等 に な っ て	不 明 ・ 無 回 答
ア 家庭のなかでは	2006年	27.6	41.9	21.3	6.7	2.4
	2012年	29.0	43.7	19.1	4.1	4.1
	2017年	31.7	40.0	18.8	7.2	2.4
イ 学校のなかでは	2006年	32.5	36.4	8.3	2.0	20.8
	2012年	27.1	34.0	8.6	2.1	28.2
	2017年	28.0	36.1	10.6	1.8	23.4
ウ 職場のなかでは	2006年	15.4	34.7	29.5	6.7	13.7
	2012年	13.5	36.2	26.2	4.7	19.4
	2017年	15.1	37.0	26.9	7.8	13.3
エ 地域活動のなかでは	2006年	14.5	34.1	34.9	8.9	7.6
	2012年	10.0	42.1	29.9	7.5	10.5
	2017年	14.6	36.6	34.7	8.7	5.4
オ 法律や制度では	2006年	24.9	38.4	22.8	5.9	8.0
	2012年	23.4	39.6	19.8	6.2	11.1
	2017年	19.3	38.0	25.0	8.7	9.0
カ 社会通念やしきたりでは	2006年	5.4	20.6	46.0	21.9	6.1
	2012年	5.2	23.9	42.4	18.3	10.2
	2017年	6.5	22.8	41.9	23.3	5.5

2006年調査、2012年調査と比較すると、「平等になっている」の割合がやや増えているのは「ア 家庭の中では」で、逆にそれがやや低下しているのは「イ 学校のなかでは」と「オ 法律や制度では」である。

2 人権侵害に該当する事象

問2 あなたは、次のようなことは人権侵害にあてはまると思いませんか。
(それぞれ1つだけに○)

[図2 - 1 人権侵害に該当する事象]



※平均評価点(スコア):ア～サ全項目

よくあてはまる	5点
ややあてはまる	4点
どちらともいえない	3点
あまりあてはまらない	2点
まったくあてはまらない	1点
不明・無回答	一点

人権侵害に「よくあてはまる」の割合が30%を超えているのは、「ア 女性ということ」で、同じ勤務年数の男性よりも給与や昇進で低い評価を受けること」「オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること」「ク 非嫡出子が結婚に際して不利益を受けること」で、それが20%を下回っているのは「コ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること」である。平均評価点をみると、高いのは「オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること」「ア 女性ということ」で、同じ勤務年数の男性よりも給与や昇進で低い評価を受けること」「ク 非嫡出子が結婚に際して不利益を受けること」「ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること」で、低いのは「サ 女性だけに結婚禁止期間が設けられていること」「コ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること」「キ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること」である。「オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること」を人権侵害に当たると考える人が多いのに比べ、「サ 女性だけに結婚禁止期間が設けられていること」を人権侵害に当たると考える人は少なく、両者の平均評価点の差は0.35となっている。

[表2 - 1 人権侵害に該当する事象（性・年齢別）①]

ア 女性ということ、同じ勤務年数の男性よりも給与や昇進で低い評価を受けること

イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	まあなりあてはまる	はまったくない	不明・無回答	平均評価点	
総数	836	259	289	198	35	17	38	3.92	
性別	男性	343	103	109	91	16	9	15	3.86
	女性	457	153	167	94	19	7	17	4.00
年齢別	29歳以下	70	33	20	12	1	4	—	4.10
	30歳代	87	46	18	20	2	—	1	4.26
	40歳代	112	39	42	22	5	4	—	3.96
	50歳代	148	59	51	28	7	1	2	4.10
	60歳代	191	41	85	51	6	4	4	3.82
	70歳以上	213	40	68	60	14	4	27	3.68
		100.0	18.8	31.9	28.2	6.6	1.9	12.7	

(上段:人、下段:%)

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	まあなりあてはまる	はまったくない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	194	299	236	40	19	48	3.77
男性	343	76	114	104	24	8	17	3.69
女性	457	114	177	116	15	10	25	3.86
29歳以下	70	24	26	14	2	3	1	3.96
30歳代	87	33	31	21	1	—	1	4.12
40歳代	112	30	42	34	3	3	—	3.83
50歳代	148	40	61	35	7	3	2	3.88
60歳代	191	40	70	62	9	4	6	3.72
70歳以上	213	26	67	64	18	6	32	3.49
	100.0	12.2	31.5	30.0	8.5	2.8	15.0	

[表 2 - 1 人権侵害に該当する事象 (性・年齢別) ②]

ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりない	まったくない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	241	301	193	42	22	37	3.87
性別	男性	343	96	124	80	17	10	3.85
	女性	457	137	171	104	19	10	3.92
年齢別	29歳以下	70	27	26	11	3	3	4.01
	30歳代	87	33	30	19	4	—	4.07
	40歳代	112	35	50	22	3	2	4.01
	50歳代	148	49	59	32	5	2	4.01
	60歳代	191	48	74	49	11	4	3.81
	70歳以上	213	45	61	57	14	11	3.61

エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が低くなること (上段:人、下段:%)

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりない	まったくない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	175	301	235	67	24	34	3.67
性別	男性	343	77	113	96	29	14	3.64
	女性	457	93	179	126	37	7	3.71
年齢別	29歳以下	70	18	20	20	9	3	3.59
	30歳代	87	22	30	22	8	4	3.67
	40歳代	112	17	47	36	9	3	3.59
	50歳代	148	37	60	38	10	3	3.80
	60歳代	191	39	73	54	14	5	3.69
	70歳以上	213	39	67	62	17	6	3.61

オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりない	まったくない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	317	223	182	48	33	33	3.93
性別	男性	343	132	90	78	19	13	3.93
	女性	457	179	127	95	26	14	3.98
年齢別	29歳以下	70	28	18	18	1	4	3.94
	30歳代	87	40	25	17	1	3	4.14
	40歳代	112	52	35	20	3	2	4.18
	50歳代	148	64	51	25	4	4	4.13
	60歳代	191	69	47	49	14	6	3.86
	70歳以上	213	62	44	52	23	12	3.63

カ HIV(エイズウイルス)感染を理由に、労働者が採用されなかったり、解雇されたりすること (上段:人、下段:%)

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりない	まったくない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	242	246	228	50	24	46	3.80
性別	男性	343	97	105	93	20	13	3.77
	女性	457	137	133	124	27	10	3.84
年齢別	29歳以下	70	28	19	17	3	2	3.99
	30歳代	87	34	26	17	5	4	3.94
	40歳代	112	36	38	30	7	1	3.90
	50歳代	148	51	42	45	6	2	3.92
	60歳代	191	51	63	54	12	4	3.79
	70歳以上	213	39	55	61	17	11	3.51

[表2-1 人権侵害に該当する事象(性・年齢別)③]

キ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること

ク 非嫡出子(法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子)が結婚に際して不利益を受けること

(上段:人、下段:%)

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりない	まったくあてはまらない	不明・無回答	平均評価点	
総数	836 100.0	235 28.1	200 23.9	238 28.5	66 7.9	57 6.8	40 4.8	3.62	
性別	男性	343 100.0	83 24.2	86 25.1	98 28.6	34 9.9	28 8.2	14 4.1	3.49
	女性	457 100.0	145 31.7	108 23.6	128 28.0	30 6.6	27 5.9	19 4.2	3.72
年齢別	29歳以下	70 100.0	26 37.1	17 24.3	14 20.0	7 10.0	6 8.6	—	3.71
	30歳代	87 100.0	29 33.3	20 23.0	21 24.1	6 6.9	10 11.5	1 1.1	3.60
	40歳代	112 100.0	35 31.3	25 22.3	34 30.4	11 9.8	7 6.3	—	3.63
	50歳代	148 100.0	46 31.1	35 23.6	47 31.8	11 7.4	9 6.1	—	3.66
	60歳代	191 100.0	55 28.8	56 29.3	49 25.7	15 7.9	10 5.2	6 3.1	3.71
	70歳以上	213 100.0	41 19.2	43 20.2	71 33.3	16 7.5	15 7.0	27 12.7	3.42

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりない	まったくあてはまらない	不明・無回答	平均評価点	
総数	836 100.0	269 32.2	254 30.4	196 23.4	44 5.3	27 3.2	46 5.5	3.88	
性別	男性	343 100.0	103 30.0	104 30.3	85 24.8	21 6.1	13 3.8	17 5.0	3.81
	女性	457 100.0	159 34.8	143 31.3	102 22.3	17 3.7	13 2.8	23 5.0	3.96
年齢別	29歳以下	70 100.0	34 48.6	18 25.7	11 15.7	3 4.3	3 4.3	1 1.4	4.12
	30歳代	87 100.0	43 49.4	25 28.7	13 14.9	2 2.3	3 3.4	1 1.1	4.20
	40歳代	112 100.0	42 37.5	34 30.4	31 27.7	3 2.7	2 1.8	—	3.99
	50歳代	148 100.0	52 35.1	55 37.2	35 23.6	1 0.7	2 2.7	1 0.7	4.02
	60歳代	191 100.0	58 30.4	63 33.0	44 23.0	12 6.3	6 3.1	8 4.2	3.85
	70歳以上	213 100.0	39 18.3	56 26.3	58 27.2	22 10.3	9 4.2	29 13.6	3.51

ケ 民間企業などで障がいがある人の雇用が進まないこと

コ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること

(上段:人、下段:%)

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりない	まったくあてはまらない	不明・無回答	平均評価点	
総数	836 100.0	191 22.8	331 39.6	213 25.5	36 4.3	24 2.9	41 4.9	3.79	
性別	男性	343 100.0	69 20.1	125 36.4	101 29.4	19 5.5	14 4.1	15 4.4	3.66
	女性	457 100.0	118 25.8	192 42.0	104 22.8	15 3.3	9 2.0	19 4.2	3.90
年齢別	29歳以下	70 100.0	20 28.6	33 47.1	12 17.1	2 2.9	2 2.9	1 1.4	3.97
	30歳代	87 100.0	31 35.6	27 31.0	24 27.6	3 3.4	1 1.1	1 1.1	3.98
	40歳代	112 100.0	27 24.1	46 41.1	29 25.9	6 5.4	4 3.6	—	3.77
	50歳代	148 100.0	42 28.4	60 40.5	38 25.7	5 3.4	3 2.0	—	3.90
	60歳代	191 100.0	37 19.4	83 43.5	52 27.2	8 4.2	4 2.1	7 3.7	3.77
	70歳以上	213 100.0	33 15.5	78 36.6	55 25.8	11 5.2	10 4.7	26 12.2	3.60

	回答者数	よくあてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりない	まったくあてはまらない	不明・無回答	平均評価点	
総数	836 100.0	154 18.4	275 32.9	284 34.0	43 5.1	30 3.6	50 6.0	3.61	
性別	男性	343 100.0	63 18.4	104 30.3	128 37.3	14 4.1	17 5.0	17 5.0	3.56
	女性	457 100.0	86 18.8	164 35.9	146 31.9	25 5.5	11 2.4	25 5.5	3.67
年齢別	29歳以下	70 100.0	29 41.4	27 38.6	11 15.7	—	3 4.3	—	4.13
	30歳代	87 100.0	23 26.4	28 32.2	29 33.3	4 4.6	2 2.3	1 1.1	3.77
	40歳代	112 100.0	20 17.9	44 39.3	43 38.4	3 2.7	2 1.8	—	3.69
	50歳代	148 100.0	27 18.2	53 35.8	56 37.8	6 4.1	5 3.4	1 0.7	3.62
	60歳代	191 100.0	36 18.8	61 31.9	71 37.2	8 4.2	7 3.7	8 4.2	3.61
	70歳以上	213 100.0	17 8.0	59 27.7	71 33.3	7 9.9	11 5.2	34 16.0	3.28

[表 2 - 1 人権侵害に該当する事象（性・年齢別）④]

サ 女性だけに再婚禁止期間が設けられていること

(上段:人、下段:%)

		回 答 者 数	る よ く あ て は ま	る や あ て は ま	え ど ち ら い と も い	ま あ ら な い あ て は	は ま っ た ら な く あ て	不 明 ・ 無 回 答	平 均 評 価 点
総数		836 100.0	225 26.9	194 23.2	243 29.1	86 10.3	47 5.6	41 4.9	3.58
性別	男性	343 100.0	84 24.5	72 21.0	106 30.9	39 11.4	26 7.6	16 4.7	3.46
	女性	457 100.0	135 29.5	117 25.6	125 27.4	42 9.2	19 4.2	19 4.2	3.70
年齢別	29歳以下	70 100.0	33 47.1	15 21.4	16 22.9	4 5.7	2 2.9	—	4.04
	30歳代	87 100.0	35 40.2	22 25.3	14 16.1	11 12.6	4 4.6	1 1.1	3.85
	40歳代	112 100.0	29 25.9	30 26.8	36 32.1	11 9.8	6 5.4	—	3.58
	50歳代	148 100.0	39 26.4	38 25.7	53 35.8	10 6.8	8 5.4	—	3.61
	60歳代	191 100.0	46 24.1	55 28.8	56 29.3	20 10.5	9 4.7	5 2.6	3.59
	70歳以上	213 100.0	41 19.2	32 15.0	64 30.0	30 14.1	17 8.0	29 13.6	3.27

性別でみると、すべての事象で平均評価点は女性が男性を上回っており、とくに「ケ 民間企業などで障がいがある人の雇用が進まないこと」「サ 女性だけに結婚禁止期間が設けられていること」「キ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること」では、女性の平均評価点が男性のそれを 0.23~0.24 も上回っている。社会に生起している人権に関わるさまざまな事象を人権侵害に該当するとみなすのは、女性のほうに多いという結果となっている。

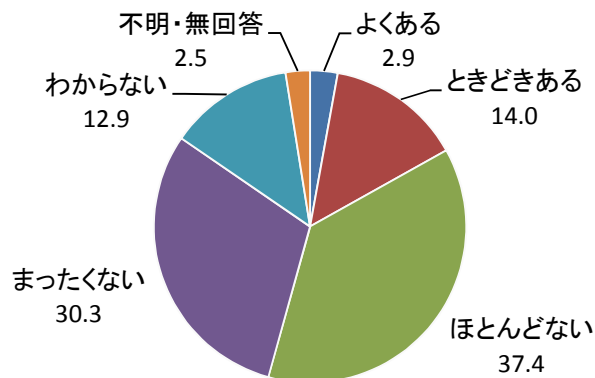
年齢別でみると、平均評価点が高い年齢層は、事象によって異なり、29 歳以下の平均評価点が高いのは、「カ HIV 感染を理由に、労働者が採用されなかったり、解雇されたりすること」「キ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること」「コ 外国人であることを理由に、賃貸マンションへの入居が拒否されること」「サ 女性だけに結婚禁止期間が設けられていること」、30 歳代の平均評価点が高くなっているのは、「ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給与や昇進で低い評価を受けること」「イ 企業の採用や昇進、給与などで、外国人が不利益を受けること」「ウ 障がいのある人が結婚したり、子どもを育てることに周囲が反対すること」「ク 非嫡出子が結婚に際して不利益を受けること」「ケ 民間企業などで障がいがある人の雇用が進まないこと」、40 歳代が高くなっているのは、「オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること」、50 歳代は「エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が低くなること」、60 歳代は「キ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること」で、29 歳以下と 30 歳代の平均評価点がやや高いという傾向がみられる。

3 人権侵害について

問3 あなたは、ここ5年くらいの間に自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。(1つだけに○)

[図3 - 1 人権侵害を受けた経験]

N=836 単位:%



この5年くらいの間に人権侵害を受けたかという問いに対して、「よくある」2.9%、「ときどきある」14.0%、「ほとんどない」37.4%、「まったくない」30.3%、「わからない」12.9%という回答となっており、この5年間で人権侵害を受けたという市民は16.9%となる。

[表3 - 1 人権侵害を受けた経験 (性・年齢別)]

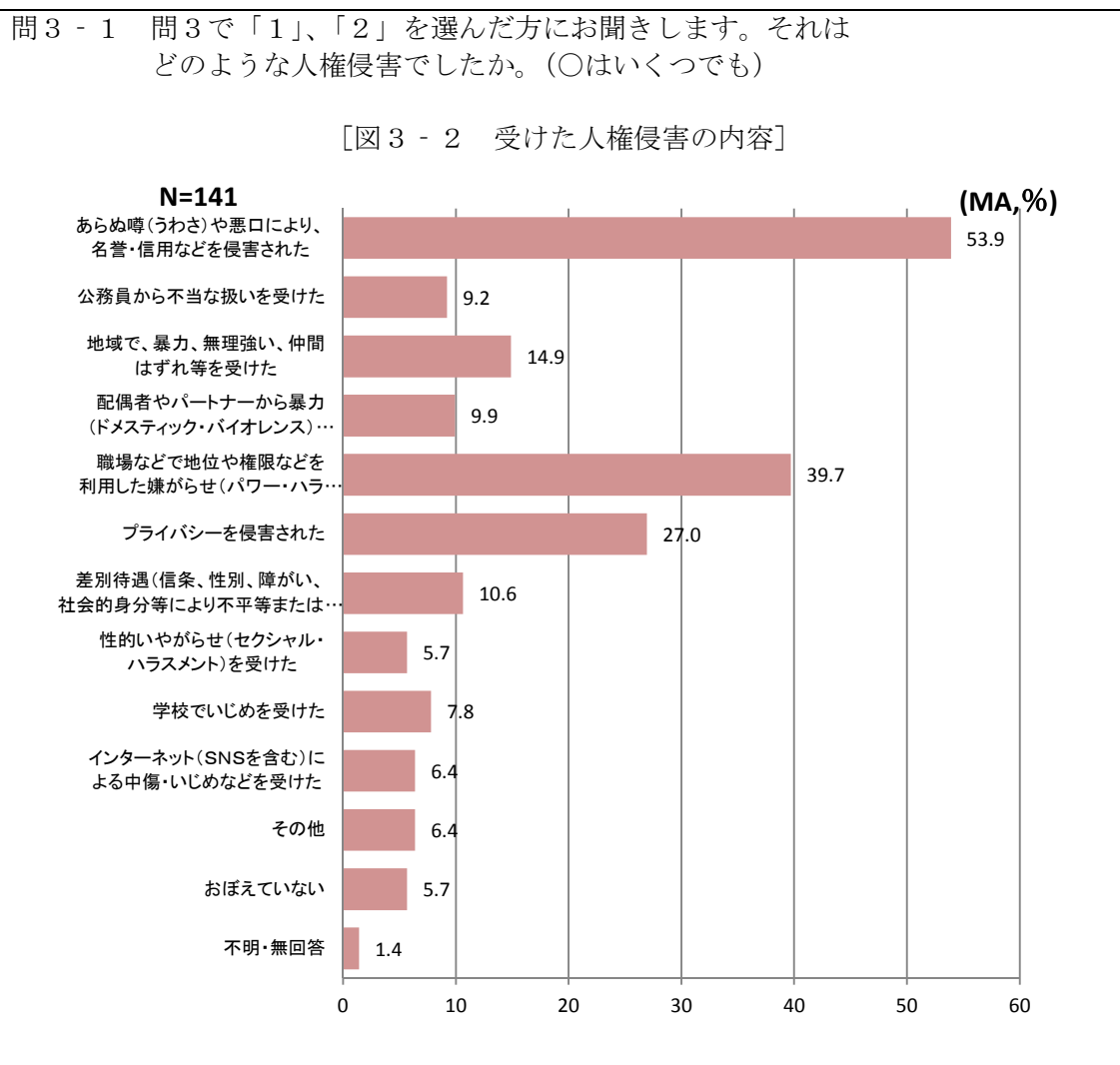
(上段:人、下段:%)

		数回 答者	よく ある	きと あき るど	どほ なと いん	くま なっ いた	なわ いか ら	無回 答・
総数		836 100.0	24 2.9	117 14.0	313 37.4	253 30.3	108 12.9	21 2.5
性別	男性	343 100.0	9 2.6	35 10.2	128 37.3	129 37.6	36 10.5	6 1.7
	女性	457 100.0	12 2.6	78 17.1	179 39.2	112 24.5	66 14.4	10 2.2
年齢別	29歳以下	70 100.0	4 5.7	10 14.3	28 40.0	12 17.1	15 21.4	1 1.4
	30歳代	87 100.0	5 5.7	18 20.7	25 28.7	23 26.4	14 16.1	2 2.3
	40歳代	112 100.0	4 3.6	22 19.6	47 42.0	26 23.2	12 10.7	1 0.9
	50歳代	148 100.0	2 1.4	23 15.5	75 50.7	29 19.6	18 12.2	1 0.7
	60歳代	191 100.0	5 2.6	21 11.0	74 38.7	67 35.1	20 10.5	4 2.1
	70歳以上	213 100.0	3 1.4	21 9.9	63 29.6	91 42.7	27 12.7	8 3.8

性別では、「よくある」は男女同じであるが、「ときどきある」が女性で多く、「まったくない」が男性で多い。

年齢別でみると、「よくある」の割合は年齢が若くなるほど高くなっており、「ときどきある」も30歳代まで年齢が若くなるほど高くなっている。「ほとんどない」は50歳代で、「まったくない」は70歳以上で、それぞれ最も高くなっている。

人権侵害を受けたという回答は、回答者の主観によるものなので、若い年齢層で「よくある」「ときどきある」という回答が多いのは、人権に関する意識が若い年齢層で高いために、自分が受けた行為を人権侵害に当たると判断するケースが多くなると考えられる。



問3で「よくある」「ときどきある」と回答した人に、その人権侵害の内容を問うと、「あらぬ噂や悪口により、名誉・信用などを侵害された」(53.9%)、「職場などで地位や権限などを利用した嫌がらせを受けた」(39.7%)、「プライバシーを侵害された」(27.0%)が多くあがった。

[表3 - 2 受けた人権侵害の内容 (性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

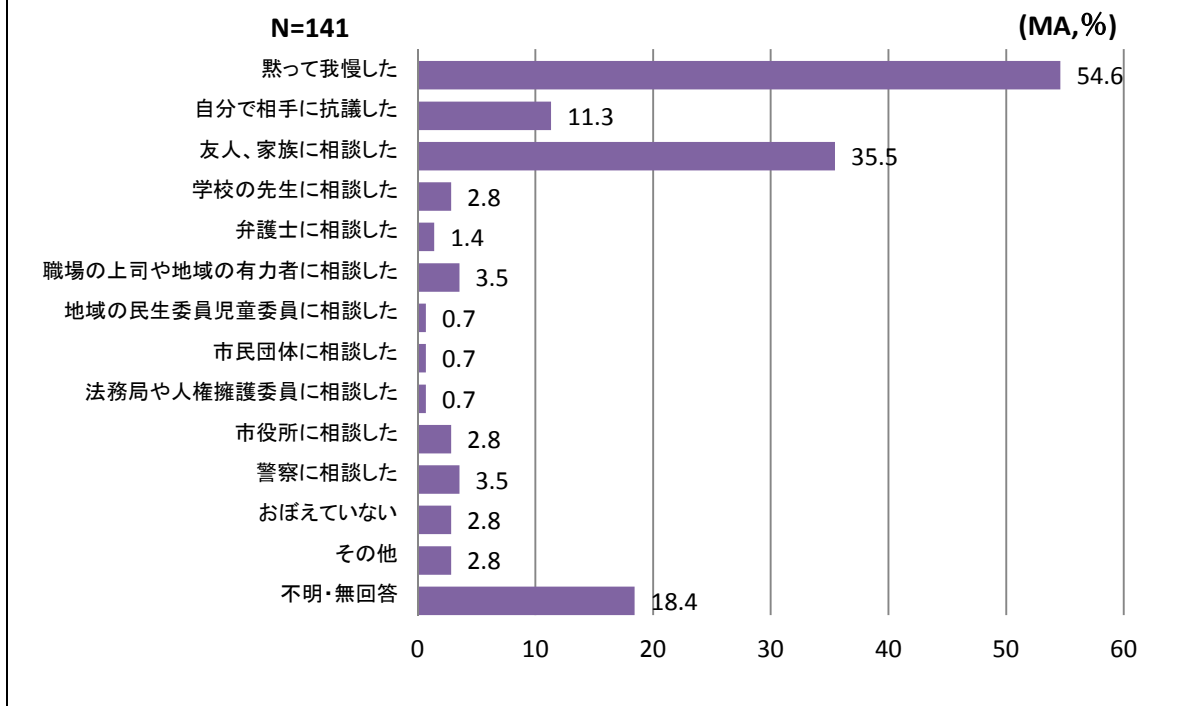
		回答者数	悪口により、名誉・信用などを侵害された	あらぬ噂(うわさ)や悪口により、名誉・信用などを侵害された	公務員から不当な扱いを受けた	地域で、暴力、無理強いを受けた	配偶者やパートナーから暴力を受けた	配偶者やパートナーから暴力を受けた	職場などで地位や権限などを利用して嫌がらせを受けた	プライバシーを侵害された	性的いやがらせ(セクシャル・ハラスメント)を受けた	学校でいじめを受けた	インターネット(SNSを含む)による中傷・いじめなどを受けた	その他	おぼえていない	不明・無回答
総数		141	76	13	21	14	56	38	15	8	11	9	9	8	2	
		100.0	53.9	9.2	14.9	9.9	39.7	27.0	10.6	5.7	7.8	6.4	6.4	5.7	1.4	
性別	男性	44	27	4	6	2	18	16	4	1	4	2	3	2	—	
		100.0	61.4	9.1	13.6	4.5	40.9	36.4	9.1	2.3	9.1	4.5	6.8	4.5	—	
性別	女性	90	46	9	12	11	36	17	10	7	6	6	6	6	2	
		100.0	51.1	10.0	13.3	12.2	40.0	18.9	11.1	7.8	6.7	6.7	6.7	6.7	2.2	
年齢別	29歳以下	14	6	2	—	—	9	4	—	2	3	3	—	1	—	
		100.0	42.9	14.3	—	—	64.3	28.6	—	14.3	21.4	21.4	—	7.1	—	
	30歳代	23	10	2	2	4	11	7	1	3	—	2	1	2	—	
		100.0	43.5	8.7	8.7	17.4	47.8	30.4	4.3	13.0	—	8.7	4.3	8.7	—	
	40歳代	26	12	2	1	3	10	4	3	2	1	1	2	2	1	
		100.0	46.2	7.7	3.8	11.5	38.5	15.4	11.5	7.7	3.8	3.8	7.7	7.7	3.8	
	50歳代	25	15	5	2	3	12	3	1	—	1	1	1	1	—	
	100.0	60.0	20.0	8.0	12.0	48.0	12.0	4.0	—	4.0	4.0	4.0	4.0	—		
60歳代	26	14	2	9	2	10	9	7	—	3	—	2	1	—		
	100.0	53.8	7.7	34.6	7.7	38.5	34.6	26.9	—	11.5	—	7.7	3.8	—		
70歳以上	24	17	—	6	2	3	8	2	1	1	1	3	1	1		
	100.0	70.8	—	25.0	8.3	12.5	33.3	8.3	4.2	4.2	4.2	12.5	4.2	4.2		

性別で見ると、「あらぬ噂や悪口により、名誉・信用などを侵害された」と「職場などで地位や権限などを利用して嫌がらせを受けた」は男性に多く、「配偶者やパートナーから暴力を受けた」と「性的嫌がらせを受けた」は女性に多い。

年齢別では、「あらぬ噂や悪口により、名誉・信用などを侵害された」は70歳以上で、「プライバシーを侵害された」は60歳代と70歳以上でそれぞれ多く、「職場などで地位や権限などを利用して嫌がらせを受けた」は29歳以下で多くみられる。

問3 - 2 問3で「1」、「2」を選んだ方にお聞きします。人権侵害を受けたとき、どうされましたか。(〇はいくつでも)

[図3 - 3 人権侵害を受けたときの対応]



人権侵害を受けたときの対応をみると、「黙って我慢した」が 54.6%で最も多く、「友人、家族に相談した」(35.5%)がこれにつづく。「地域の民生委員児童委員に相談した」や「法務局や人権擁護委員に相談した」「市役所に相談した」などは少なく、人権侵害を受けた人たちが公的な相談機関に結びついていないことがわかる。

[表3 - 3 人権侵害を受けたときの対応 (性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

	回 答 者 数	黙 して 我 慢 した	自 分 で 抗 議 した	友 人 、 家 族 に 相 談 した	学 校 の 先 生 に 相 談 した	弁 護 士 に 相 談 した	司 法 局 に 相 談 した	地 域 の 児 童 委 員 会 に 相 談 した	地 域 の 民 生 委 員 会 に 相 談 した	市 民 団 体 に 相 談 した	委 員 会 に 相 談 した	法 務 局 に 相 談 した	市 役 所 に 相 談 した	警 察 に 相 談 した	お ぼ え な い	そ の 他	回 答 不 明 ・ 無	
総数	141 100.0	77 54.6	16 11.3	50 35.5	4 2.8	2 1.4	5 3.5	1 0.7	1 0.7	1 0.7	4 2.8	5 3.5	4 2.8	4 2.8	4 2.8	26 18.4		
性別	男性	44 100.0	24 54.5	4 9.1	11 25.0	2 4.5	1 2.3	— —	— —	— —	— —	1 2.3	2 4.5	1 2.3	2 4.5	6 13.6		
	女性	90 100.0	48 53.3	10 11.1	38 42.2	2 2.2	1 1.1	4 4.4	1 1.1	1 1.1	1 1.1	3 3.3	2 2.2	3 3.3	2 2.2	18 20.0		
年齢別	29歳以下	14 100.0	6 42.9	3 21.4	8 57.1	2 14.3	— —	3 21.4	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	2 14.3	
	30歳代	23 100.0	16 69.6	3 13.0	7 30.4	— —	— —	1 4.3	1 4.3	— —	1 4.3	1 4.3	1 4.3	— —	— —	— —	2 8.7	
	40歳代	26 100.0	12 46.2	2 7.7	8 30.8	2 7.7	1 3.8	— —	— —	— —	— —	2 7.7	1 3.8	1 3.8	1 3.8	1 3.8	7 26.9	
	50歳代	25 100.0	11 44.0	3 12.0	11 44.0	— —	— —	— —	— —	1 4.0	— —	— —	— —	— —	— —	2 8.0	2 8.0	4 16.0
	60歳代	26 100.0	14 53.8	2 7.7	7 26.9	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 3.8	1 3.8	— —	— —	— —	— —	7 26.9
	70歳以上	24 100.0	16 66.7	3 12.5	8 33.3	— —	1 4.2	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 4.2	1 4.2	1 4.2	3 12.5	

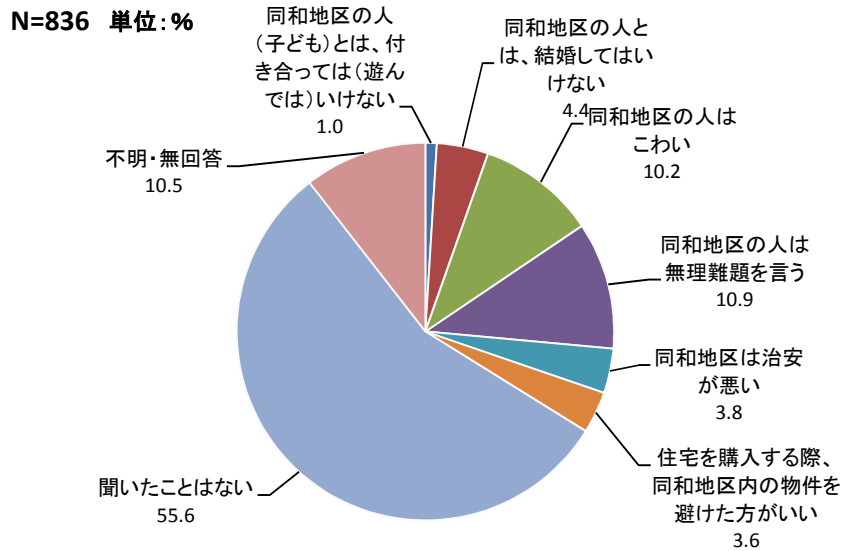
性別で見ると、「友人、家族に相談した」は女性で多く、その割合は男性を 17.2 ポイントも上回っている。

年齢別では、「黙って我慢した」が 30 歳代と 70 歳以上で多くみられ、その割合は 7 割近くになっている。また、「自分で抗議した」と「友人、家族に相談した」は、それぞれ 29 歳以下で最も多くなっている。

4 同和問題に関する発言

問4 あなたは、この5年くらいの間で同和問題に関して、次のような発言を直接聞いたことがありますか。複数ある場合は、強く印象に残っているものを選んでください。(1つだけに○)

[図4-1 同和問題に関する発言を聞いた経験]



この5年くらいの間で同和問題に関する発言を直接、聞いたことがあるという回答の中では、「同和地区の人は無理難題を言う」(10.9%)と「同和地区の人はこわい」(10.2%)が多い。「聞いたことはない」と「不明・無回答」を合わせると、66.1%なので、33.9%の人たちがこの5年くらいの間で同和問題に関した、同和地区や同和地区住民を一面的なイメージで決めつける発言や差別的な内容を含む発言を直接、聞いていることになる。

[表 4 - 1 同和問題に関する発言を聞いた経験 (性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

		回答者数	同和地区の人(子どもとは、付き合いがない)	同和地区の人は、結婚してはいけない	同和地区の人はこわい	同和地区の人は無理難題を言う	同和地区は治安が悪い	同和地区内を避けた方がいい	同和地区内を避けた方がいい	同和地区内を避けた方がいい	不明・無回答
総数		836 100.0	8 1.0	37 4.4	85 10.2	91 10.9	32 3.8	30 3.6	465 55.6	88 10.5	
性別	男性	343 100.0	2 0.6	12 3.5	35 10.2	49 14.3	9 2.6	13 3.8	193 56.3	30 8.7	
	女性	457 100.0	6 1.3	24 5.3	49 10.7	38 8.3	22 4.8	15 3.3	254 55.6	49 10.7	
年齢別	29歳以下	70 100.0	2 2.9	3 4.3	5 7.1	2 2.9	5 7.1	3 4.3	45 64.3	5 7.1	
	30歳代	87 100.0	2 2.3	—	12 13.8	10 11.5	9 10.3	3 3.4	41 47.1	10 11.5	
	40歳代	112 100.0	1 0.9	6 5.4	11 9.8	12 10.7	6 5.4	1 0.9	70 62.5	5 4.5	
	50歳代	148 100.0	—	8 5.4	17 11.5	22 14.9	3 2.0	4 2.7	81 54.7	13 8.8	
	60歳代	191 100.0	3 1.6	8 4.2	20 10.5	23 12.0	3 1.6	5 2.6	107 56.0	22 11.5	
	70歳以上	213 100.0	—	11 5.2	19 8.9	21 9.9	6 2.8	12 5.6	116 54.5	28 13.1	

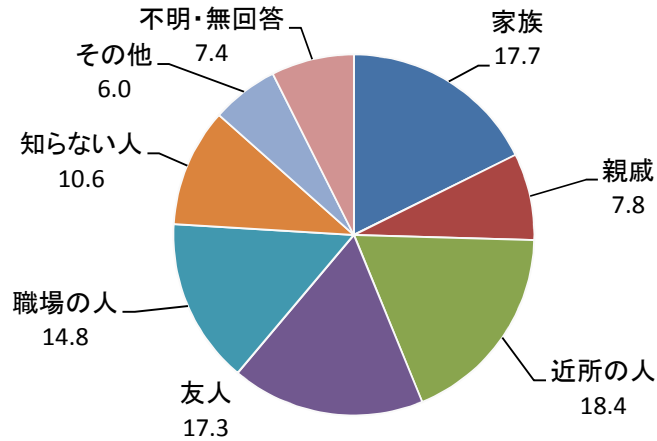
性別では、「同和地区の人は無理難題を言う」という発言を聞いたという割合は男性のほうが高く、「同和地区は治安が悪い」は女性のほうに多い。そして、男性の35.0%、女性の33.7%が、この5年くらいの間と同和問題に関する差別的な発言等を直接、聞いている。

年齢別では、「同和地区の人はこわい」と「同和地区は治安が悪い」という発言を聞いた割合は、ともに30歳代で高く、「同和地区の人は無理難題を言う」は50歳代で高い。同和問題に関する差別的な発言等を直接、聞いたという人は、30歳代で多く(41.4%)29歳以下で低い(28.6%)。

問4-1 問4-1～問4-2は、問4で「1」～「6」を選んだ方にお聞きします。それは誰から聞きましたか。主なものを選んでください。(1つだけに○)

[図4-2 誰から聞いたのか]

N=283 単位:%



同和問題に関する差別的な発言等を聞いた人について、それを誰から聞いたのかをみると、最も多いのが「近所の人」(18.4%)で、これに「家族」(17.7%)、「友人」(17.3%)が続く。

[表4-2 誰から聞いたのか (性・年齢別)]

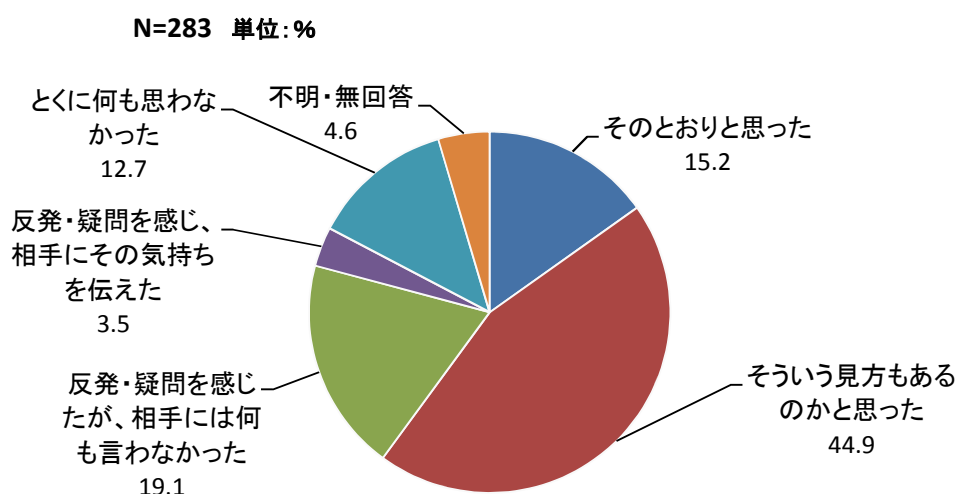
		(上段:人、下段:%)								
		回答者数	家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	知らない人	その他	不明・無回答
総数		283	50	22	52	49	42	30	17	21
		100.0	17.7	7.8	18.4	17.3	14.8	10.6	6.0	7.4
性別	男性	120	6	10	16	25	26	19	11	7
		100.0	5.0	8.3	13.3	20.8	21.7	15.8	9.2	5.8
性別	女性	154	44	11	33	22	15	11	5	13
		100.0	28.6	7.1	21.4	14.3	9.7	7.1	3.2	8.4
年齢別	29歳以下	20	9	—	1	5	2	2	—	1
		100.0	45.0	—	5.0	25.0	10.0	10.0	—	5.0
	30歳代	36	15	2	2	2	12	2	—	1
		100.0	41.7	5.6	5.6	5.6	33.3	5.6	—	2.8
	40歳代	37	7	5	3	4	10	3	3	2
		100.0	18.9	13.5	8.1	10.8	27.0	8.1	8.1	5.4
	50歳代	54	11	1	9	12	7	4	7	3
	100.0	20.4	1.9	16.7	22.2	13.0	7.4	13.0	5.6	
60歳代	62	4	7	12	11	11	8	3	6	
	100.0	6.5	11.3	19.4	17.7	17.7	12.9	4.8	9.7	
70歳以上	69	4	6	24	13	—	11	3	8	
	100.0	5.8	8.7	34.8	18.8	—	15.9	4.3	11.6	

性別では、「家族」と「近所の人」は女性のほうが多く、「友人」「職場の人」「知らない人」は男性のほうが多い。

年齢別では、「家族」は29歳以下、「近所の人」は70歳以上、「職場の人」は30歳代がそれぞれ多くなっている。

問4-2 それを聞いたとき、どう感じましたか。
また、どうしましたか。(1つだけに○)

[図4-3 どう感じたのか]



同和問題に関する差別的な発言等を聞いたとき、どう感じたのかについては、「そういう見方もあるのかと思った」が44.9%と最も多く、ついで「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」19.1%、「そのとおりに思った」15.2%である。差別的内容を含む発言等を肯定する「そのとおりに思った」という回答が15%もみられ、差別的な発言等に同調する可能性のある「そういう見方もあるのかと思った」が半数近くを占めること、そして、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」と「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」を合わせても22.6%しかないことは、この5年間に差別的な発言等を聞いた人が34%と、決して少なくないことから考えて、同和問題に関する教育・啓発の課題が依然として非常に大きいことを示しているといえる。

[表 4 - 3 どう感じたのか (性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

		回答者数	たそのとおりに思っ	るそうかという見方もあ	も言わなかつたは	たが、相手が何じ	反発・疑問を感じ	持ち、相手をその気	か、相手に何も思わな	不明・無回答
総数		283 100.0	43 15.2	127 44.9	54 19.1	10 3.5	36 12.7	13 4.6		
性別	男性	120 100.0	19 15.8	56 46.7	21 17.5	3 2.5	17 14.2	4 3.3		
	女性	154 100.0	24 15.6	67 43.5	32 20.8	7 4.5	16 10.4	8 5.2		
年齢別	29歳以下	20 100.0	3 15.0	8 40.0	5 25.0	2 10.0	2 10.0	—	—	—
	30歳代	36 100.0	7 19.4	18 50.0	4 11.1	2 5.6	5 13.9	—	—	—
	40歳代	37 100.0	7 18.9	14 37.8	10 27.0	—	6 16.2	—	—	—
	50歳代	54 100.0	12 22.2	26 48.1	10 18.5	3 5.6	3 5.6	—	—	—
	60歳代	62 100.0	7 11.3	27 43.5	12 19.4	2 3.2	9 14.5	5 8.1		
	70歳以上	69 100.0	7 10.1	32 46.4	12 17.4	1 1.4	10 14.5	7 10.1		

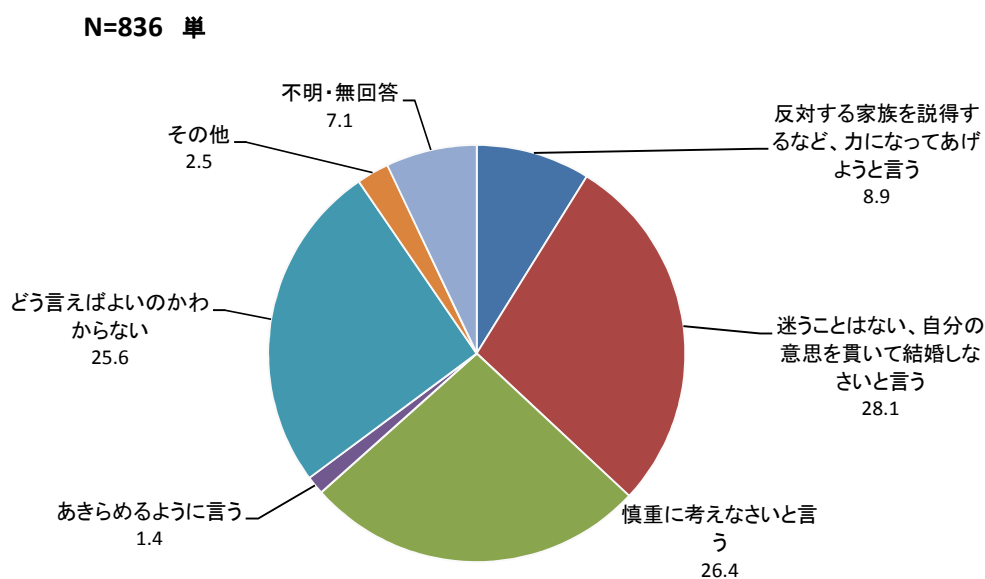
性別でみると、男女の間に大きな差はみられないものの、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」と「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」の割合は、男性のほうがやや高くなっている。

年齢別でみると、「そのとおりに思った」は50歳代に多く、「反発・疑問を感じたが、相手には何も言わなかった」は29歳以下と40歳代で、「反発・疑問を感じ、相手にその気持ちを伝えた」は29歳以下でそれぞれ多くなっている。

5 同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚に対する態度

問5 結婚相手が同和地区出身であるということを理由に家族から結婚を反対されている親戚がいるとします。あなたがその方から相談を受けた場合、どのような態度をとると思いますか。最もお考えに近いものを選んでください。(1つだけに○)

[図5 - 1 同和地区出身者との結婚を反対されている親戚に対する態度]



同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚がいたとして、その親戚から相談を受けた際の態度についてみると、最も積極的な対応といえる「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」は 8.9%で、その割合は、「慎重に考えなさいと言う」(26.4%) や「どう言えばよいのかわからない」(25.6%) を大きく下回っている。また、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」は 28.1%と、その割合は最も高いが、「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」と合わせても 37.0%で、「慎重に考えなさいと言う」「あきらめるように言う」「どう言えばよいのかわからない」を合わせた 53.4%を 16.4 ポイントも下回っており、同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚の側に立とうとする人は、多いとはいえない。

[表5 - 1 同和地区出身者との結婚を反対されている親戚に対する態度 (性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

		回答者数	言な得反言迷 うつす対うこと てあするする婚し げなる家族しな よ、カを族ささい うとに説いと	言て自迷 う結分 て婚の 自意 分思 を貫 いて 結 婚 し な さ い と 言 う	慎 重 に 考 え な さ い と 言 う	に あ き ら め る よ う に 言 う	の ど う 言 え ば よ い の か わ か ら な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
総数		836 100.0	74 8.9	235 28.1	221 26.4	12 1.4	214 25.6	21 2.5	59 7.1
性別	男性	343 100.0	29 8.5	129 37.6	84 24.5	3 0.9	64 18.7	10 2.9	24 7.0
	女性	457 100.0	41 9.0	99 21.7	130 28.4	9 2.0	141 30.9	10 2.2	27 5.9
年齢別	29歳以下	70 100.0	7 10.0	26 37.1	15 21.4	3 4.3	16 22.9	1 1.4	2 2.9
	30歳代	87 100.0	16 18.4	22 25.3	30 34.5	— —	12 13.8	2 2.3	5 5.7
	40歳代	112 100.0	10 8.9	33 29.5	23 20.5	2 1.8	36 32.1	1 0.9	7 6.3
	50歳代	148 100.0	9 6.1	37 25.0	43 29.1	3 2.0	44 29.7	5 3.4	7 4.7
	60歳代	191 100.0	12 6.3	59 30.9	49 25.7	1 0.5	53 27.7	5 2.6	12 6.3
	70歳以上	213 100.0	19 8.9	56 26.3	59 27.7	3 1.4	50 23.5	6 2.8	20 9.4

性別で見ると、「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」は男性のほうに多く、「どう言えばよいかわからない」は女性のほうに多い。

年齢別では、「反対する家族を説得するなど、力になってあげようと言う」の割合は、30歳代で最も高いものの、「慎重に考えなさいと言う」の割合も30歳代で最も高くなっている。「迷うことはない、自分の意思を貫いて結婚しなさいと言う」は29歳以下で、「どう言えばよいかわからない」は29歳以下と40歳代が多い。29歳以下や30歳代といった若い年齢層で、同和地区出身者との結婚を反対されている親戚の側に立とうとする態度が相対的に多くみられる一方で、「慎重に考えなさいと言う」や「どう言えばよいかわからない」という消極的な対応も多くみられる。

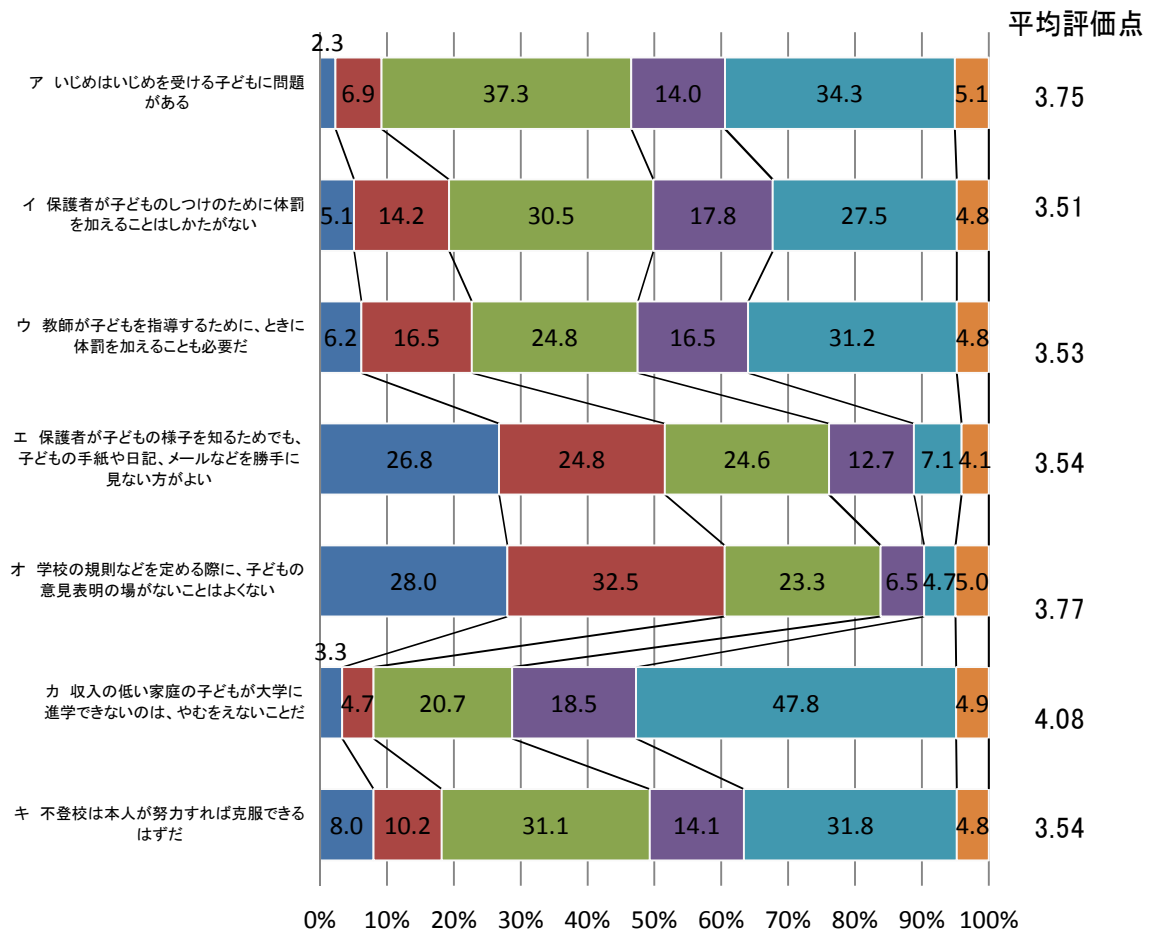
6 子どもの人権について

問6 子どもの人権に関する意見について、あなたはどのように思いますか。
ア～キのそれぞれについて選んでください。(それぞれ1つだけに○)

[図6-1 子どもの人権について]

N=836 単位:%

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない
- 不明・無回答



※平均評価点(スコア):ア、イ、ウ、カ、キ

そう思う	1点
どちらかといえばそう思う	2点
どちらともいえない	3点
どちらかといえばそう思わない	4点
そう思わない	5点
不明・無回答	一点

※平均評価点(スコア):エ、オ

そう思う	5点
どちらかといえばそう思う	4点
どちらともいえない	3点
どちらかといえばそう思わない	2点
そう思わない	1点
不明・無回答	一点

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計を『そう思う』、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計を『そう思わない』とすると（以下、同じ）、『そう思う』が50%を超えているのは、「エ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ない方がよい」（51.6%）と「オ 学校の規則などを定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない」（60.5%）で、『そう思わない』が50%を超えているのは、「カ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ」（66.3%）である。平均評価点では、「カ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ」だけが4.08と、4を超えており、「オ 学校の規則などを定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない」（3.77）と「ア いじめはいじめを受ける子どもに問題がある」（3.75）がこれにつづく。また、割合自体は高いとはいえないが、「イ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない」と「ウ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ」で、『そう思う』の割合がそれぞれ19.3%、22.7%というように、子どもへの体罰を容認する意見が2割ほどみられる。

ところで、「ア いじめはいじめを受ける子どもに問題がある」については、「ア いじめはいじめを受ける子どもにも問題がある」とすべきところを、校正ミスで調査票では「ア いじめはいじめを受ける子どもに問題がある」となってしまった。本来の意図とは異なり、いじめの原因を被害者に求めるという一方的な意見となったが、この一方的な意見に対して、『そう思わない』が5割に達しておらず、「どちらともいえない」が4割近くあるというように、いじめの原因が被害者にあるという「自己責任論」を否定する回答が大半を占めるに至っていないのである。そして、「キ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ」の、不登校をその当人の責任に帰するかのような意見に対しても、『そう思わない』が5割を下回り、「どちらともいえない」が31.1%となっている。本来、社会全体が取り組み、解決していかなければならない問題を個人の責任にすり替えるかのような自己責任論が、一定程度、確認できることは大きな課題であるといえる。

[表6-1 子どもの人権について(性・年齢別)①]

ア いじめはいじめを受ける子どもに問題がある

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	19	58	312	117	287	43	3.75	
性別	男性	343	11	25	124	52	112	19	3.71
	女性	457	8	28	178	60	166	17	3.79
年齢別	29歳以下	70	1	5	28	7	28	1	3.81
	30歳代	87	1	4	30	16	36	—	3.94
	40歳代	112	1	5	45	25	32	4	3.76
	50歳代	148	6	10	50	25	52	5	3.75
	60歳代	191	4	13	77	24	68	5	3.75
	70歳以上	213	6	19	78	20	67	23	3.65

イ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	43	119	255	149	230	40	3.51	
100.0	5.1	14.2	30.5	17.8	27.5	4.8	—	—	
性別	343	26	57	111	55	78	16	3.31	
100.0	7.6	16.6	32.4	16.0	22.7	4.7	—	—	
女性	457	16	54	134	91	145	17	3.67	
100.0	3.5	11.8	29.3	19.9	31.7	3.7	—	—	
29歳以下	70	2	6	18	14	29	1	3.90	
100.0	2.9	8.6	25.7	20.0	41.4	1.4	—	—	
30歳代	87	3	15	25	21	23	—	3.53	
100.0	3.4	17.2	28.7	24.1	26.4	—	—	—	
40歳代	112	6	10	39	21	33	3	3.60	
100.0	5.4	8.9	34.8	18.8	29.5	2.7	—	—	
50歳代	148	4	20	50	33	38	3	3.56	
100.0	2.7	13.5	33.8	22.3	25.7	2.0	—	—	
60歳代	191	14	20	66	29	56	6	3.50	
100.0	7.3	10.5	34.6	15.2	29.3	3.1	—	—	
70歳以上	213	14	45	53	31	48	22	3.28	
100.0	6.6	21.1	24.9	14.6	22.5	10.3	—	—	

ウ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	52	138	207	138	261	40	3.53	
100.0	6.2	16.5	24.8	16.5	31.2	4.8	—	—	
性別	343	34	69	83	53	89	15	3.29	
100.0	9.9	20.1	24.2	15.5	25.9	4.4	—	—	
女性	457	17	62	115	81	165	17	3.72	
100.0	3.7	13.6	25.2	17.7	36.1	3.7	—	—	
29歳以下	70	1	10	12	13	33	1	3.97	
100.0	1.4	14.3	17.1	18.6	47.1	1.4	—	—	
30歳代	87	3	22	20	19	23	—	3.43	
100.0	3.4	25.3	23.0	21.8	26.4	—	—	—	
40歳代	112	8	18	28	24	31	3	3.48	
100.0	7.1	16.1	25.0	21.4	27.7	2.7	—	—	
50歳代	148	10	23	41	19	52	3	3.55	
100.0	6.8	15.5	27.7	12.8	35.1	2.0	—	—	
60歳代	191	12	29	55	31	58	6	3.51	
100.0	6.3	15.2	28.8	16.2	30.4	3.1	—	—	
70歳以上	213	18	33	48	31	61	22	3.44	
100.0	8.5	15.5	22.5	14.6	28.6	10.3	—	—	

エ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ない方がよい

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	224	207	206	106	59	34	3.54	
100.0	26.8	24.8	24.6	12.7	7.1	4.1	—	—	
性別	343	106	84	75	31	32	15	3.61	
100.0	30.9	24.5	21.9	9.0	9.3	4.4	—	—	
女性	457	112	116	120	70	26	13	3.49	
100.0	24.5	25.4	26.3	15.3	5.7	2.8	—	—	
29歳以下	70	25	20	9	10	5	1	3.72	
100.0	35.7	28.6	12.9	14.3	7.1	1.4	—	—	
30歳代	87	31	24	16	13	3	—	3.77	
100.0	35.6	27.6	18.4	14.9	3.4	—	—	—	
40歳代	112	23	28	30	16	12	3	3.31	
100.0	20.5	25.0	26.8	14.3	10.7	2.7	—	—	
50歳代	148	34	23	54	23	11	3	3.32	
100.0	23.0	15.5	36.5	15.5	7.4	2.0	—	—	
60歳代	191	46	58	41	27	14	5	3.51	
100.0	24.1	30.4	21.5	14.1	7.3	2.6	—	—	
70歳以上	213	63	53	52	14	14	17	3.70	
100.0	29.6	24.9	24.4	6.6	6.6	8.0	—	—	

[表6 - 1 子どもの人権について (性・年齢別) ②]

オ 学校の規則などを定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない

		回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかといえない	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数		836 100.0	234 28.0	272 32.5	195 23.3	54 6.5	39 4.7	42 5.0	3.77	
性別	男性	343 100.0	103 30.0	107 31.2	71 20.7	26 7.6	20 5.8	16 4.7	3.76	
	女性	457 100.0	123 26.9	154 33.7	115 25.2	27 5.9	19 4.2	19 4.2	3.76	
年齢別	29歳以下	70 100.0	22 31.4	16 22.9	22 31.4	4 5.7	5 7.1	1 1.4	3.67	
	30歳代	87 100.0	27 31.0	31 35.6	17 19.5	8 9.2	4 4.6	—	3.79	
	40歳代	112 100.0	30 26.8	40 35.7	24 21.4	9 8.0	5 4.5	4 3.6	3.75	
	50歳代	148 100.0	38 25.7	47 31.8	39 26.4	15 10.1	6 4.1	3 2.0	3.66	
	60歳代	191 100.0	53 27.7	68 35.6	47 24.6	9 4.7	6 3.1	8 4.2	3.84	
	70歳以上	213 100.0	62 29.1	67 31.5	41 19.2	9 4.2	13 6.1	21 9.9	3.81	

カ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ

(上段:人、下段:%)

		回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかといえない	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数		836 100.0	28 3.3	39 4.7	173 20.7	155 18.5	400 47.8	41 4.9	4.08	
性別	男性	343 100.0	13 3.8	14 4.1	73 21.3	65 19.0	161 46.9	17 5.0	4.06	
	女性	457 100.0	14 3.1	22 4.8	90 19.7	85 18.6	230 50.3	16 3.5	4.12	
年齢別	29歳以下	70 100.0	2 2.9	3 4.3	12 17.1	16 22.9	36 51.4	1 1.4	4.17	
	30歳代	87 100.0	3 3.4	8 9.2	18 20.7	19 21.8	38 43.7	1 1.1	3.94	
	40歳代	112 100.0	6 5.4	1 0.9	21 18.8	21 18.8	60 53.6	3 2.7	4.17	
	50歳代	148 100.0	5 3.4	3 2.0	36 24.3	30 20.3	71 48.0	3 2.0	4.10	
	60歳代	191 100.0	4 2.1	10 5.2	38 19.9	34 17.8	100 52.4	5 2.6	4.16	
	70歳以上	213 100.0	7 3.3	13 6.1	44 20.7	35 16.4	91 42.7	23 10.8	4.00	

キ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ

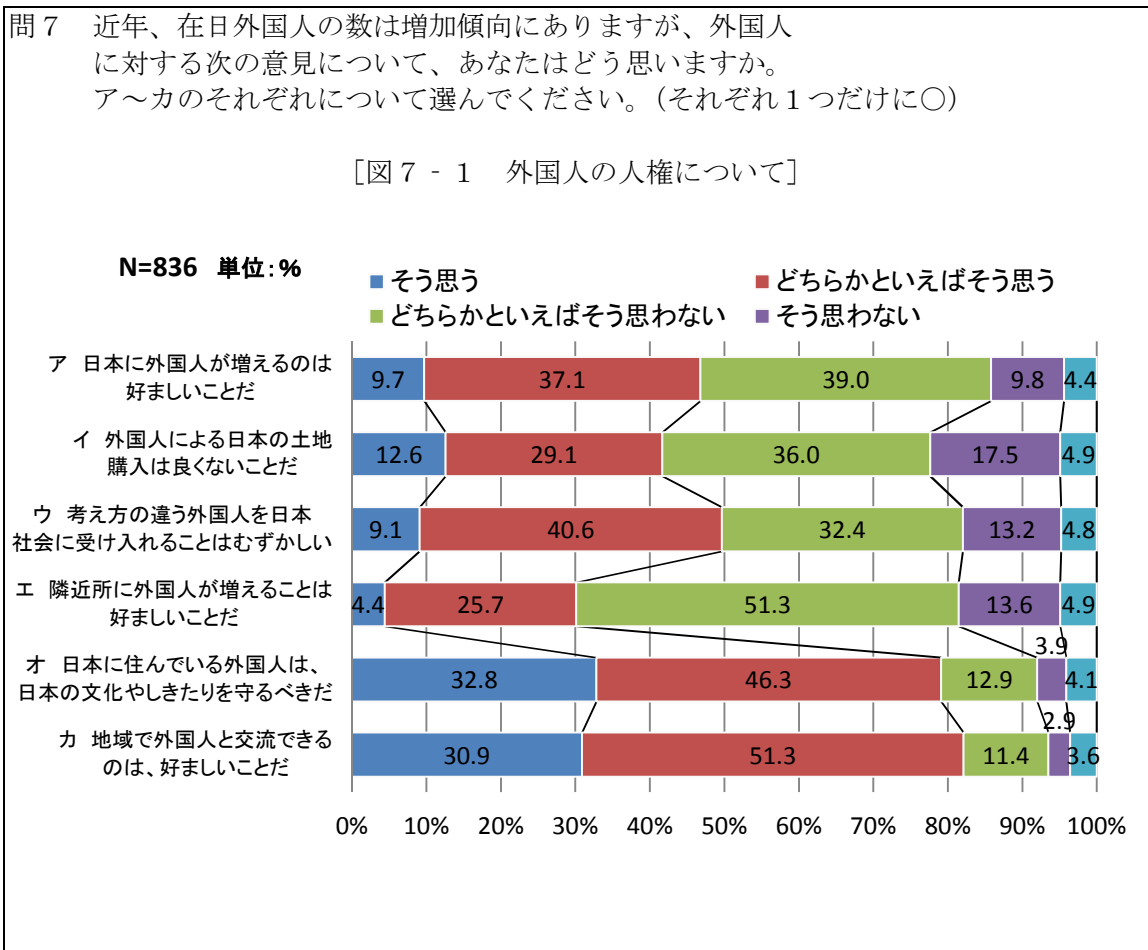
(上段:人、下段:%)

		回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかといえない	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数		836 100.0	67 8.0	85 10.2	260 31.1	118 14.1	266 31.8	40 4.8	3.54	
性別	男性	343 100.0	30 8.7	42 12.2	100 29.2	50 14.6	104 30.3	17 5.0	3.48	
	女性	457 100.0	32 7.0	40 8.8	149 32.6	64 14.0	156 34.1	16 3.5	3.62	
年齢別	29歳以下	70 100.0	6 8.6	5 7.1	16 22.9	15 21.4	27 38.6	1 1.4	3.75	
	30歳代	87 100.0	4 4.6	6 6.9	21 24.1	13 14.9	43 49.4	—	3.98	
	40歳代	112 100.0	5 4.5	6 5.4	30 26.8	25 22.3	42 37.5	4 3.6	3.86	
	50歳代	148 100.0	4 2.7	16 10.8	56 37.8	19 12.8	50 33.8	3 2.0	3.66	
	60歳代	191 100.0	11 5.8	23 12.0	71 37.2	21 11.0	60 31.4	5 2.6	3.52	
	70歳以上	213 100.0	34 16.0	29 13.6	61 28.6	24 11.3	42 19.7	23 10.8	3.06	

性別で、平均評価点の差が大きくみられるのが「イ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない」と「ウ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ」で、女性のほうがそれぞれ 0.36、0.43 高くなっている。要するに、体罰を肯定する回答が男性のほうに多いのである。

年齢別では、「ア いじめはいじめを受ける子どもに問題がある」「イ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない」「キ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ」で、70 歳以上の平均評価点が低くなっているが、「ウ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ」と「カ 収入の低い家庭の子どもが大学に進学できないのは、やむをえないことだ」は 30 歳代、「エ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ない方がよい」は 40 歳代と 50 歳代で平均評価点が低くなっている。教師の体罰を容認する回答は 30 歳代が多いが（『そう思う』38.7%）、30 歳代は小中学生の子どもの親の年齢に当たるので、教師の体罰を容認する保護者が多いといえる。しかし、その一方で、「キ 不登校は本人が努力すれば克服できるはずだ」については、30 歳代の平均評価点が最も高くなっている。また、「ア いじめはいじめを受ける子どもに問題がある」と「エ 保護者が子どもの様子を知るためでも、子どもの手紙や日記、メールなどを勝手に見ない方がよい」でも 30 歳代の平均評価点が最も高くなっている。このように、「イ 保護者が子どものしつけのために体罰を加えることはしかたがない」「ウ 教師が子どもを指導するために、ときに体罰を加えることも必要だ」「オ 学校の規則などを定める際に、子どもの意見表明の場がないことはよくない」を除く各設問については、人権の観点からみた理解は 30 歳代で最も高くなっている。

7 外国人の人権について



『そう思う』が多いのは「オ 日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ」(79.1%)と「カ 地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ」(82.2%)で、8割前後の大きさとなっている。これに対して、『そう思う』が少ないのは、「エ 隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ」(30.1%)と「イ 外国人による日本の土地購入はよくないことだ」(41.7%)である。『そう思う』の割合は「ア 日本に外国人が増えるのは好ましいことだ」では46.8%であるのに、「エ 隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ」では30.1%となっており、隣近所でなければ外国人が増えることは好ましいと考える人が少なからずいることになる。一方、『そう思わない』が最も多いのは「エ 隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ」(64.9%)で、ついで「イ 外国人による日本の土地購入はよくないことだ」(53.5%)となっている。

[表7-1 外国人の人権について(性・年齢別)①]

ア 日本に外国人が増えるのは好ましいことだ

		回答者数	そう思う	どちらかという	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答
総数		836 100.0	81 9.7	310 37.1	326 39.0	82 9.8	37 4.4
性別	男性	343 100.0	44 12.8	131 38.2	123 35.9	34 9.9	11 3.2
	女性	457 100.0	33 7.2	171 37.4	193 42.2	42 9.2	18 3.9
年齢別	29歳以下	70 100.0	11 15.7	38 54.3	17 24.3	3 4.3	1 1.4
	30歳代	87 100.0	11 12.6	38 43.7	31 35.6	7 8.0	—
	40歳代	112 100.0	12 10.7	39 34.8	55 49.1	5 4.5	1 0.9
	50歳代	148 100.0	6 4.1	54 36.5	70 47.3	16 10.8	2 1.4
	60歳代	191 100.0	24 12.6	68 35.6	72 37.7	21 11.0	6 3.1
	70歳以上	213 100.0	14 6.6	70 32.9	78 36.6	29 13.6	22 10.3

イ 外国人による日本の土地購入は良くないことだ

(上段:人、下段:%)

		回答者数	そう思う	どちらかという	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答
総数		836 100.0	105 12.6	243 29.1	301 36.0	146 17.5	41 4.9
性別	男性	343 100.0	42 12.2	110 32.1	117 34.1	63 18.4	11 3.2
	女性	457 100.0	54 11.8	129 28.2	175 38.3	79 17.3	20 4.4
年齢別	29歳以下	70 100.0	3 4.3	12 17.1	33 47.1	22 31.4	—
	30歳代	87 100.0	10 11.5	12 13.8	36 41.4	29 33.3	—
	40歳代	112 100.0	9 8.0	30 26.8	50 44.6	21 18.8	2 1.8
	50歳代	148 100.0	13 8.8	50 33.8	61 41.2	23 15.5	1 0.7
	60歳代	191 100.0	30 15.7	68 35.6	58 30.4	29 15.2	6 3.1
	70歳以上	213 100.0	37 17.4	70 32.9	59 27.7	22 10.3	25 11.7

ウ 考え方の違う外国人を日本社会に受け入れることはむずかしい

		回答者数	そう思う	どちらかという	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答
総数		836 100.0	76 9.1	339 40.6	271 32.4	110 13.2	40 4.8
性別	男性	343 100.0	27 7.9	132 38.5	125 36.4	46 13.4	13 3.8
	女性	457 100.0	44 9.6	198 43.3	136 29.8	59 12.9	20 4.4
年齢別	29歳以下	70 100.0	5 7.1	25 35.7	23 32.9	16 22.9	1 1.4
	30歳代	87 100.0	9 10.3	26 29.9	34 39.1	17 19.5	1 1.1
	40歳代	112 100.0	4 3.6	41 36.6	54 48.2	13 11.6	—
	50歳代	148 100.0	11 7.4	71 48.0	54 36.5	12 8.1	—
	60歳代	191 100.0	15 7.9	85 44.5	54 28.3	30 15.7	7 3.7
	70歳以上	213 100.0	30 14.1	88 41.3	49 23.0	21 9.9	25 11.7

エ 隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ

(上段:人、下段:%)

		回答者数	そう思う	どちらかという	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答
総数		836 100.0	37 4.4	215 25.7	429 51.3	114 13.6	41 4.9
性別	男性	343 100.0	16 4.7	91 26.5	180 52.5	43 12.5	13 3.8
	女性	457 100.0	19 4.2	113 24.7	241 52.7	65 14.2	19 4.2
年齢別	29歳以下	70 100.0	9 12.9	22 31.4	29 41.4	9 12.9	1 1.4
	30歳代	87 100.0	5 5.7	25 28.7	45 51.7	11 12.6	1 1.1
	40歳代	112 100.0	5 4.5	29 25.9	63 56.3	14 12.5	1 0.9
	50歳代	148 100.0	3 2.0	38 25.7	89 60.1	17 11.5	1 0.7
	60歳代	191 100.0	8 4.2	52 27.2	103 53.9	20 10.5	8 4.2
	70歳以上	213 100.0	5 2.3	47 22.1	96 45.1	42 19.7	23 10.8

[表 7 - 1 外国人の人権について (性・年齢別) ②]

オ 日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ

カ 地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ

		回答者数	そう思う	どちらかという	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答	(上段:人、下段:%)					
		回答者数	そう思う	どちらかという	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答	回答者数	そう思う	どちらかという	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答
総数		836	274	387	108	33	34	836	258	429	95	24	30
		100.0	32.8	46.3	12.9	3.9	4.1	100.0	30.9	51.3	11.4	2.9	3.6
性別	男性	343	107	161	47	16	12	343	114	174	37	7	11
		100.0	31.2	46.9	13.7	4.7	3.5	100.0	33.2	50.7	10.8	2.0	3.2
性別	女性	457	155	217	56	16	13	457	133	243	53	17	11
		100.0	33.9	47.5	12.3	3.5	2.8	100.0	29.1	53.2	11.6	3.7	2.4
年齢別	29歳以下	70	21	31	12	6	—	70	27	29	8	6	—
		100.0	30.0	44.3	17.1	8.6	—	100.0	38.6	41.4	11.4	8.6	—
	30歳代	87	33	37	13	3	1	87	40	37	8	1	1
		100.0	37.9	42.5	14.9	3.4	1.1	100.0	46.0	42.5	9.2	1.1	1.1
	40歳代	112	36	55	16	5	—	112	29	67	14	1	1
		100.0	32.1	49.1	14.3	4.5	—	100.0	25.9	59.8	12.5	0.9	0.9
50歳代	148	39	82	23	4	—	148	39	91	13	3	2	
	100.0	26.4	55.4	15.5	2.7	—	100.0	26.4	61.5	8.8	2.0	1.4	
60歳代	191	56	99	20	9	7	191	57	107	21	4	2	
	100.0	29.3	51.8	10.5	4.7	3.7	100.0	29.8	56.0	11.0	2.1	1.0	
70歳以上	213	84	79	24	6	20	213	62	95	29	9	18	
	100.0	39.4	37.1	11.3	2.8	9.4	100.0	29.1	44.6	13.6	4.2	8.5	

性別では、男女の差がみられるのは「ア 日本に外国人が増えるのは好ましいことだ」の「そう思う」で、男性が女性を 5.6 ポイント上回っている程度で、その他の設問では性別による差はほとんどみられない。

年齢別にみると、年齢による差が大きくみられるのは、「オ 日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ」を除く各項目で、「ア 日本に外国人が増えるのは好ましいことだ」「ウ 考え方の違う外国人を日本社会に受け入れることはむずかしい」「カ 地域で外国人と交流できるのは、好ましいことだ」では、年齢が若くなるほど『そう思う』の割合が高くなっている。このように、若い年齢層では外国人に対する寛容さが比較的大きいといえよう。

[表 7 - 2 外国人の人権について (経年比較)]

(単位:%)

		そう 思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	不 明 ・ 無 回 答
ア 日本に外国人が増えるのは 好ましいことだ	2009年	5.5	23.1	45.4	19.0	7.1
	2012年	11.6	35.1	36.4	9.6	7.3
	2017年	9.7	37.1	39.0	9.8	4.4
イ 外国人による日本の土地購 入は良くないことだ	2009年	11.6	26.2	31.5	20.8	6.4
	2012年	17.1	27.3	30.8	17.1	7.7
	2017年	12.6	29.1	36.0	17.5	4.9
ウ 考え方の違う外国人を日本 社会に受け入れることはむずか しい	2009年	21.9	38.9	25.6	7.5	6.1
	2012年	13.5	38.1	27.5	13.7	7.1
	2017年	9.1	40.6	32.4	13.2	4.8
エ 隣近所に外国人が増えるこ とは好ましいことだ	2009年	2.4	19.0	47.5	23.8	7.4
	2012年	5.3	28.3	42.2	16.4	7.7
	2017年	4.4	25.7	51.3	13.6	4.9
オ 日本に住んでいる外国人 は、日本の文化やしきたりを守 るべきだ	2009年	42.6	40.6	8.5	4.0	4.4
	2012年	34.8	44.2	10.9	4.1	6.1
	2017年	32.8	46.3	12.9	3.9	4.1
カ 地域で外国人と交流できる のは、好ましいことだ	2009年	25.6	47.5	14.7	5.8	6.4
	2012年	36.9	43.1	10.0	3.6	6.4
	2017年	30.9	51.3	11.4	2.9	3.6

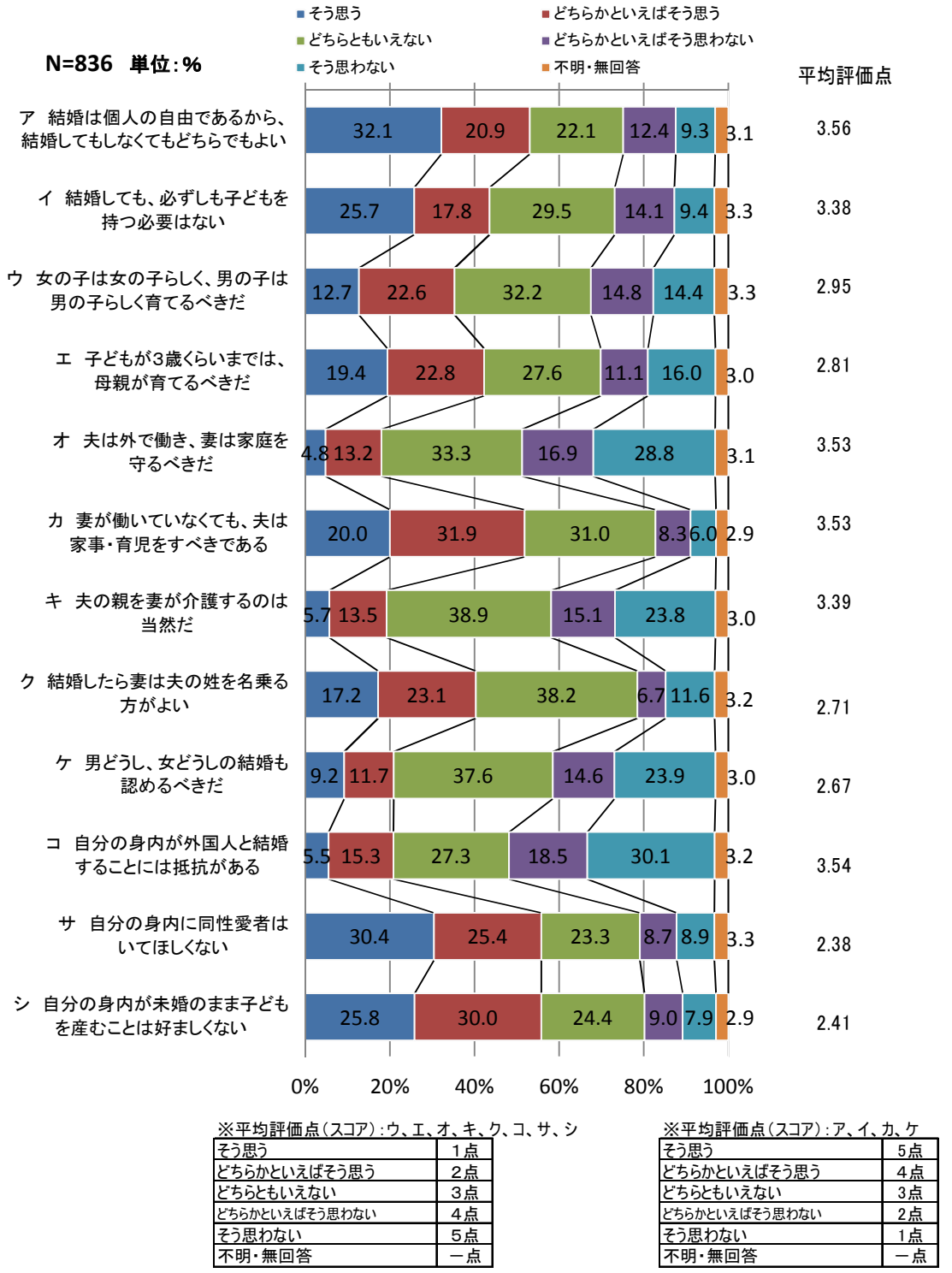
※ 2009年のデータは、2009年7月実施の多文化共生調査の結果である。

過去の調査結果(2009年、2012年)と比較すると、2009年から2017年にかけて「そう思う」の割合が低下しているのは、「ウ 考え方の違う外国人を日本社会に受け入れることはむずかしい」と「オ 日本に住んでいる外国人は、日本の文化やしきたりを守るべきだ」で、「そう思わない」の割合が低下しているのは、「エ 隣近所に外国人が増えることは好ましいことだ」である。そして、全体を通して、多文化共生についての理解が前進していることがうかがえる結果となっている。

8 家族に関わる人権について

問8 次のような家族に関わるいろいろな見方や考え方について、あなたはどのように思いますか。ア～シのそれぞれについて選んでください。(それぞれ1つだけに○)

[図8-1 家族に関わる人権について]



『そう思う』の割合が50%を超えているのは、「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」「カ 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするべきである」「サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない」「シ 自分の身内が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない」である。前の2つは、一つの決められた生き方に縛られることなく、多様な生き方を肯定したり、夫の家事・育児への参加を促す意見が多数派となっていることを示すが、後の2つは、同性愛者や未婚のままでの出産に対する忌避意識が強いことを示している。平均評価点をみると、3.5を超えているのは、「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」「オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」「カ 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をするべきである」「コ 自分の身内が外国人と結婚することには抵抗がある」であり、性別役割分業から自由な生き方や、結婚に関する自由な生き方を肯定する意見が優勢となっていることがうかがわれる。これに対して、平均評価点が2.5を下回っているのは、前述した『そう思う』の割合が50%を超えていた「サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない」「シ 自分の身内が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない」である。このように、家族のあり方については、市民の寛容さがみられることがらと市民の非寛容さが目立つことがらに大きく分かれる結果となった。

[表8-1 家族に関わる人権について (性・年齢別) ①]

ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない

	回答者数	そう思う	どちらかという	どちらともいえない	どちらかともいえない	そう思わない	不明・無回答	平均評価点	
総数	836 100.0	268 32.1	175 20.9	185 22.1	104 12.4	78 9.3	26 3.1	3.56	
性別	男性	343 100.0	99 28.9	68 19.8	73 21.3	50 14.6	44 12.8	9 2.6	3.38
	女性	457 100.0	159 34.8	99 21.7	106 23.2	52 11.4	29 6.3	12 2.6	3.69
年齢別	29歳以下	70 100.0	40 57.1	16 22.9	12 17.1	2 2.9	—	—	4.34
	30歳代	87 100.0	51 58.6	16 18.4	15 17.2	3 3.4	1 1.1	1 1.1	4.31
	40歳代	112 100.0	48 42.9	28 25.0	16 14.3	15 13.4	4 3.6	1 0.9	3.91
	50歳代	148 100.0	38 25.7	32 21.6	40 27.0	25 16.9	11 7.4	2 1.4	3.42
	60歳代	191 100.0	50 26.2	40 20.9	43 22.5	34 17.8	21 11.0	3 1.6	3.34
	70歳以上	213 100.0	38 17.8	39 18.3	57 26.8	25 11.7	39 18.3	15 7.0	3.06

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	どちらともいえない	どちらかともいえない	そう思わない	不明・無回答	平均評価点	
総数	836 100.0	215 25.7	149 17.8	247 29.5	118 14.1	79 9.4	28 3.3	3.38	
性別	男性	343 100.0	73 21.3	59 17.2	105 30.6	59 17.2	39 11.4	8 2.3	3.20
	女性	457 100.0	133 29.1	87 19.0	132 28.9	55 12.0	36 7.9	14 3.1	3.51
年齢別	29歳以下	70 100.0	36 51.4	20 28.6	10 14.3	4 5.7	—	—	4.26
	30歳代	87 100.0	47 54.0	17 19.5	12 13.8	9 10.3	1 1.1	1 1.1	4.16
	40歳代	112 100.0	40 35.7	33 29.5	21 18.8	13 11.6	4 3.6	1 0.9	3.83
	50歳代	148 100.0	31 20.9	28 18.9	49 33.1	30 20.3	8 5.4	2 1.4	3.30
	60歳代	191 100.0	34 17.8	31 16.2	76 39.8	27 14.1	21 11.0	2 1.0	3.16
	70歳以上	213 100.0	25 11.7	18 8.5	74 34.7	34 16.0	44 20.7	18 8.5	2.72

[表8-1 家族に関わる人権について(性・年齢別)②]

ウ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	106	189	269	124	120	28	2.95	
性別	男性	343	54	92	100	49	38	10	2.77
	女性	457	45	90	159	74	77	12	3.11
年齢別	29歳以下	70	5	13	20	18	14	—	3.33
	30歳代	87	7	14	23	15	27	1	3.48
	40歳代	112	13	22	34	27	15	1	3.08
	50歳代	148	8	26	62	31	20	1	3.20
	60歳代	191	27	53	66	18	24	3	2.78
	70歳以上	213	43	60	57	15	20	18	2.53

エ 子どもが3歳くらいまでは、母親が育てるべきだ

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	162	191	231	93	134	25	2.81	
性別	男性	343	53	81	94	44	63	8	2.95
	女性	457	98	104	129	47	67	12	2.73
年齢別	29歳以下	70	12	11	16	10	21	—	3.24
	30歳代	87	8	10	26	10	32	1	3.56
	40歳代	112	16	15	33	19	28	1	3.25
	50歳代	148	16	42	53	20	16	1	2.85
	60歳代	191	39	56	54	21	20	1	2.62
	70歳以上	213	67	55	47	12	15	17	2.25

オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	40	110	278	141	241	26	3.53	
性別	男性	343	17	44	114	60	101	7	3.55
	女性	457	18	59	157	79	130	14	3.55
年齢別	29歳以下	70	1	7	20	13	29	—	3.89
	30歳代	87	3	8	21	12	42	1	3.95
	40歳代	112	5	12	31	23	40	1	3.73
	50歳代	148	3	10	63	29	42	1	3.66
	60歳代	191	6	31	65	35	52	2	3.51
	70歳以上	213	21	38	77	28	32	17	3.06

カ 妻が働いていなくても、夫は家事・育児をすべきである

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	167	267	259	69	50	24	3.53	
性別	男性	343	67	104	106	33	26	7	3.46
	女性	457	94	159	139	31	22	12	3.61
年齢別	29歳以下	70	27	18	15	4	6	—	3.80
	30歳代	87	26	23	22	11	4	1	3.65
	40歳代	112	35	45	21	6	4	1	3.91
	50歳代	148	30	62	43	9	3	1	3.73
	60歳代	191	30	63	72	17	8	1	3.47
	70歳以上	213	18	55	79	20	25	16	3.11

[表 8 - 1 家族に関わる人権について (性・年齢別) ③]

キ 夫の親を妻が介護するのは当然だ

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	48	113	325	126	199	25	3.39	
性別	男性	343	21	53	133	53	75	8	3.32
	女性	457	24	55	178	69	119	12	3.46
年齢別	29歳以下	70	3	8	19	14	26	—	3.74
	30歳代	87	2	8	23	15	38	1	3.92
	40歳代	112	4	8	38	24	37	1	3.74
	50歳代	148	—	15	65	25	42	1	3.64
	60歳代	191	11	31	95	23	30	1	3.16
	70歳以上	213	27	42	79	23	25	17	2.88

ク 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	144	193	319	56	97	27	2.71	
性別	男性	343	68	77	130	24	36	8	2.65
	女性	457	65	108	179	32	59	14	2.80
年齢別	29歳以下	70	9	14	26	8	13	—	3.03
	30歳代	87	8	15	34	8	21	1	3.22
	40歳代	112	5	25	50	11	20	1	3.14
	50歳代	148	9	32	76	12	17	2	2.97
	60歳代	191	36	49	78	10	16	2	2.58
	70歳以上	213	72	56	51	7	9	18	2.10

ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	77	98	314	122	200	25	2.67	
性別	男性	343	28	31	102	63	112	7	2.40
	女性	457	46	64	204	56	74	13	2.89
年齢別	29歳以下	70	14	16	31	4	5	—	3.43
	30歳代	87	20	27	20	11	8	1	3.47
	40歳代	112	17	19	54	11	10	1	3.20
	50歳代	148	11	17	72	23	24	1	2.78
	60歳代	191	10	11	73	34	61	2	2.34
	70歳以上	213	5	7	62	37	86	16	2.03

コ 自分の身内が外国人と結婚することには抵抗がある

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	46	128	228	155	252	27	3.54	
性別	男性	343	17	59	94	57	109	7	3.54
	女性	457	28	63	124	92	135	15	3.55
年齢別	29歳以下	70	2	8	12	19	29	—	3.93
	30歳代	87	4	13	15	14	40	1	3.85
	40歳代	112	3	12	29	24	43	1	3.83
	50歳代	148	2	29	44	32	40	1	3.54
	60歳代	191	11	25	60	44	47	4	3.49
	70歳以上	213	24	39	64	20	50	16	3.17

[表 8 - 1 家族に関わる人権について (性・年齢別) ④]

サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない

シ 自分の身内が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない

		回答者数	そう思う	どちらかという	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数		836	254	212	195	73	74	28	2.38
性別	男性	343	119	88	83	25	20	8	2.22
	女性	457	124	116	108	47	48	14	2.50
年齢別	29歳以下	70	12	10	25	8	15	—	3.06
	30歳代	87	12	14	26	13	21	1	3.20
	40歳代	112	22	25	30	16	18	1	2.85
	50歳代	148	42	40	43	15	7	1	2.35
	60歳代	191	65	64	40	12	7	3	2.11
	70歳以上	213	96	58	29	8	4	18	1.80

		回答者数	そう思う	どちらかという	どちらともいえない	どちらかといえ	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数		836	216	251	204	75	66	24	2.41
性別	男性	343	101	85	93	30	27	7	2.40
	女性	457	107	153	104	43	38	12	2.44
年齢別	29歳以下	70	9	11	25	10	15	—	3.16
	30歳代	87	11	23	25	10	17	1	2.99
	40歳代	112	21	36	25	15	14	1	2.68
	50歳代	148	31	52	40	16	8	1	2.44
	60歳代	191	56	70	46	11	7	1	2.17
	70歳以上	213	86	56	39	11	4	17	1.93

性別で、平均評価点に大きな男女差がみられるのは、「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」「イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」「ウ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てるべきだ」「ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ」であり、いずれも女性のほうが高くなっている（平均評価点の差は、順に 0.31、0.31、0.34、0.49）。個人の多様な生き方や多様な子育て、同性婚に関しては、女性のほうが寛容といえる。

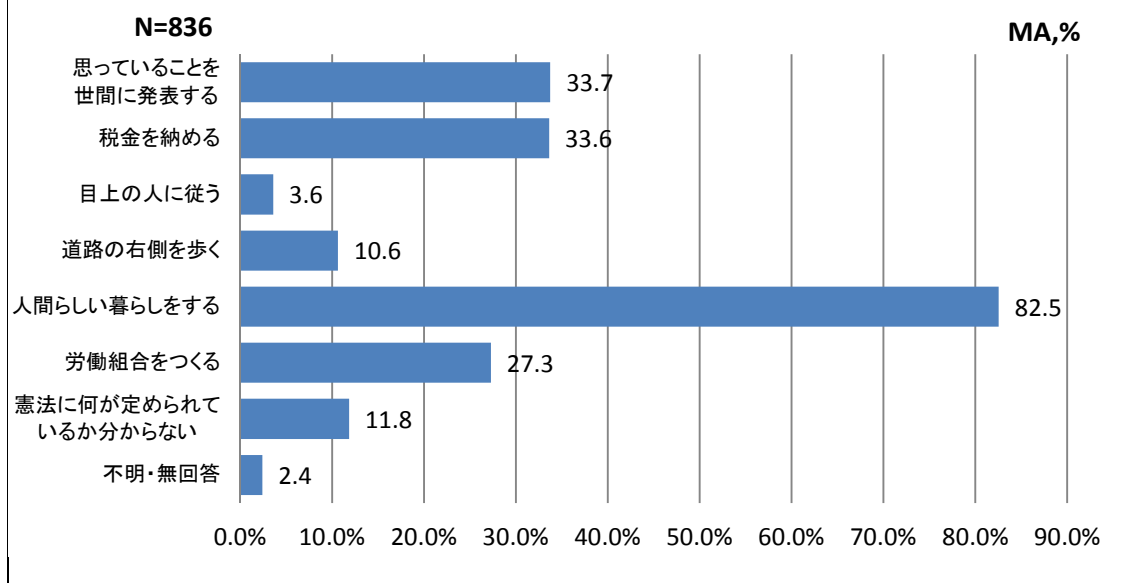
年齢別では、70歳以上から29歳以下にかけて、年齢が若くなるほど平均評価点が上昇しているのが「ア 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」「イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」「コ 自分の身内が外国人と結婚することには抵抗がある」「シ 自分の身内が未婚のまま子どもを産むことは好ましくない」で、70歳以上から30歳代にかけて年齢が若くなるほど平均評価点が上昇しているのは「エ 子どもが3歳くらいまでは、母親が育てるべきだ」「オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」「オ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」「キ 夫の親を妻が介護するのは当然だ」「ク 結婚したら妻は夫の姓を名乗る方がよい」「ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ」「サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない」である。すなわち、家族に関わる人権についての12の項目のうち、10の項目で年齢が若くなるほど平均評価点が上昇しているのである。とりわけ、「イ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」「ケ 男どうし、女どうしの結婚も認めるべきだ」「サ 自分の身内に同性愛者はいてほしくない」では70歳以上と29歳以下(または30歳代)の平均評価点の差が1.4以上にもなっている。このように、平均評価点の高さからみて、中高年層には、いわゆる伝統的な家族観・家族

像への強いこだわりがあり、若年層にはそうした伝統的な家族観・家族像から比較的に自由であるといえる。

9 憲法に定められた国民の権利

問9 あなたは、憲法によって、義務ではなく、「国民の権利」と定められているのはどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

[図9 - 1 憲法に定められた国民の権利]



最も多いのが「人間らしい暮らしをする」で、82.5%、ついで「思っていることを世間に発表する」(33.7%)、「税金を納める」(33.6%)で、「労働組合をつくる」は27.3%となっている。そして、「憲法に何が定められているのかわからない」は11.8%である。

これらのうち憲法に国民の権利として定められているのは、「人間らしい暮らしをする」(第25条 生存権)、「思っていることを世間に発表する」(第21条 表現の自由)、「労働組合をつくる」(第28条 勤労者の団結権)であるが、「人間らしい暮らしをする」が8割ほどあるものの、「思っていることを世間に発表する」と「労働組合をつくる」は3割前後しかない。自分がどんな権利をもっているのか、知らなければ、自分の権利を守ることもできないし、自分の周りの人たちがどのような権利をもっているのか、知らなければ、他者の権利を侵害しないということもできない。その意味では、図9-1にみられる憲法の国民の権利に対する理解は決して高いとはいえない。

[表9 - 1 憲法に定められた国民の権利 (性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

		回答者数	るを思 世っ 間に 発表 すこと	税金を 納める	目上 の人 に従 う	く道 路の 右側 を歩	し人 を間 らしい 暮らし をする	る労 働組 合をつ くる	から憲 法に何 が定め られて いるの かわか らない	不明 ・無 回答
総数		836 100.0	282 33.7	281 33.6	30 3.6	89 10.6	690 82.5	228 27.3	99 11.8	20 2.4
性別	男性	343 100.0	138 40.2	110 32.1	12 3.5	31 9.0	294 85.7	110 32.1	27 7.9	7 2.0
	女性	457 100.0	134 29.3	159 34.8	18 3.9	54 11.8	373 81.6	108 23.6	66 14.4	8 1.8
年齢別	29歳以下	70 100.0	33 47.1	17 24.3	3 4.3	5 7.1	53 75.7	21 30.0	11 15.7	— —
	30歳代	87 100.0	30 34.5	20 23.0	2 2.3	3 3.4	64 73.6	29 33.3	14 16.1	2 2.3
	40歳代	112 100.0	41 36.6	34 30.4	6 5.4	2 1.8	100 89.3	24 21.4	5 4.5	1 0.9
	50歳代	148 100.0	47 31.8	40 27.0	1 0.7	7 4.7	129 87.2	40 27.0	12 8.1	1 0.7
	60歳代	191 100.0	68 35.6	70 36.6	4 2.1	23 12.0	159 83.2	54 28.3	25 13.1	3 1.6
	70歳以上	213 100.0	61 28.6	96 45.1	14 6.6	48 22.5	176 82.6	58 27.2	29 13.6	9 4.2

性別でみると、「思っていることを世間に発表する」の割合は、女性のほうが 10.9 ポイント低く、「労働組合をつくる」についても女性のほうが 8.5 ポイント低い。そして、「憲法に何が定められているのかわからない」の割合は、女性のほうが 6.5 ポイント高い。このように、憲法の国民の権利に対する理解は、女性のほうが低いといえる。

年齢別でみると、年齢が若くなるほど憲法の権利理解が高くなっているのは「思っていることを世間に発表する」だけで、「人間らしい暮らしをする」の割合は 40 歳代で最も高く、「労働組合をつくる」の割合は 30 歳代で最も高い。また、29 歳以下と 30 歳代では「憲法に何が定められているのかわからない」の割合が他の年齢層に比べて高くなっている。

[表9 - 2 憲法に定められた国民の権利 (NHK 調査との比較) (別紙)]

(単位: %)

	米原市	全国
思っていることを世間に発表する	33.7	36.4
税金を納める	33.6	46.8
目上の人に従う	3.6	8.0
道路の右側を歩く	10.6	14.8
人間らしい暮らしをする	82.5	77.9
労働組合をつくる	27.3	21.7
憲法に何が定められているか分からない	11.8	3.9
不明・無回答	2.4	

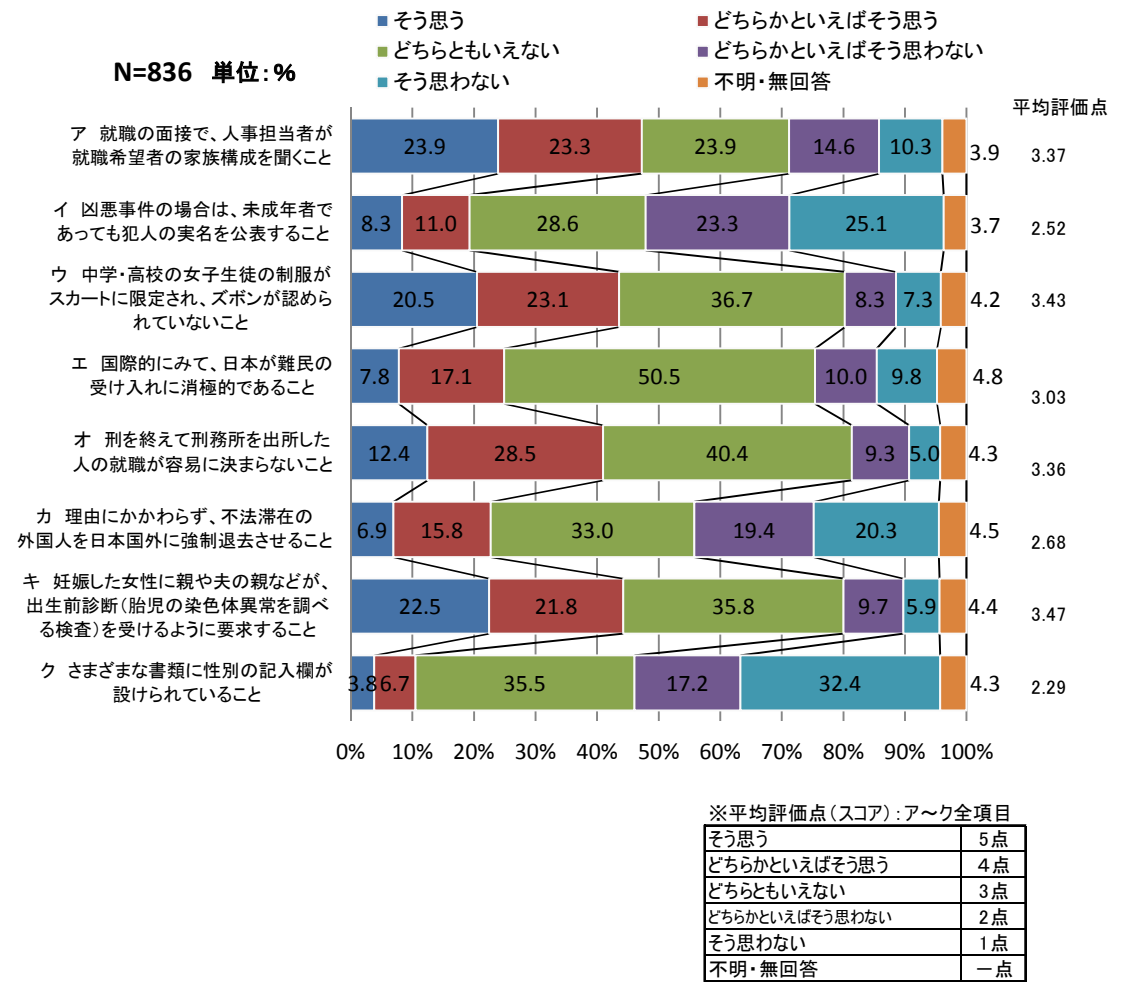
NHK放送文化研究所「日本人の意識調査」2013年

2013年に実施されたNHK放送文化研究所の「日本人の意識調査」と比較すると、全国に比べて「思っていることを世間に発表する」の割合はやや低いものの、「人間らしい暮らしをする」と「労働組合をつくる」の割合はやや高くなっている。そして、誤答である「税金を納める」「目上の人に従う」「道路の右側を歩く」の割合は、それぞれ全国よりも低くなっている。

10 人権の視点から問題のある行為について

問 10 あなたは、次のようなことは人権の視点から問題があると思いますか。ア～クのそれぞれについて選んでください。(それぞれ1つだけに○)

[図 10 - 1 人権の視点から問題のある行為について]



問 10 は、近年になって人権の視点から、その問題点が指摘されるようになってきた事象を取り上げたものである。これによると、各項目とも『そう思う』あるいは『そう思わない』が 50%を超えるものはなく、回答者の意見が割れていることがわかる。『そう思う』が最も多いのは「ア 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと」で 47.2%、『そう思わない』が最も多いのは「ク ささまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること」で 49.6%である。平均評価点が高いのは、「キ 妊娠した女性に親や夫の親などが、出生前診断を受けるように要求すること」(3.47)、「ウ 中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、ズボンが認められていないこと」(3.43) で、平均評価点が低いのは「ク ささまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること」(2.29)、「イ 凶悪事件の場合は、未成年者であっても犯人の実名を公表すること」(2.52) となっている。

[表 10 - 1 人権の視点から問題のある行為について (性・年齢別) ①]

ア 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	200	195	200	122	86	33	3.37	
性別	男性	343	81	79	86	50	35	12	3.37
	女性	457	115	110	106	67	46	13	3.41
年齢別	29歳以下	70	29	16	15	7	3	—	3.87
	30歳代	87	29	21	18	13	6	—	3.62
	40歳代	112	35	29	31	10	6	1	3.69
	50歳代	148	36	36	42	25	9	—	3.44
	60歳代	191	35	52	39	34	25	6	3.21
	70歳以上	213	34	38	53	32	36	20	3.01

イ 凶悪事件の場合は、未成年者であっても犯人の実名を公表すること

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	69	92	239	195	210	31	2.52	
性別	男性	343	30	44	71	89	99	10	2.45
	女性	457	36	46	154	104	104	13	2.56
年齢別	29歳以下	70	8	7	19	20	16	—	2.59
	30歳代	87	3	4	17	25	38	—	1.95
	40歳代	112	8	11	25	37	30	1	2.37
	50歳代	148	5	20	48	36	39	—	2.43
	60歳代	191	16	22	65	39	44	5	2.61
	70歳以上	213	27	28	61	37	42	18	2.80

ウ 中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、スポーツが認められていないこと

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	171	193	307	69	61	35	3.43	
性別	男性	343	84	72	119	24	32	12	3.46
	女性	457	79	116	176	43	28	15	3.40
年齢別	29歳以下	70	14	11	31	6	8	—	3.24
	30歳代	87	18	15	35	7	12	—	3.23
	40歳代	112	25	24	49	9	4	1	3.51
	50歳代	148	24	40	60	19	5	—	3.40
	60歳代	191	53	55	56	12	8	7	3.72
	70歳以上	213	35	45	73	16	24	20	3.26

エ 国際的にみて、日本が難民の受け入れに消極的であること

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	65	143	422	84	82	40	3.03	
性別	男性	343	40	73	147	33	35	15	3.15
	女性	457	25	64	261	47	44	16	2.95
年齢別	29歳以下	70	9	16	23	9	11	2	3.04
	30歳代	87	8	7	44	17	10	1	2.84
	40歳代	112	10	17	58	15	11	1	3.00
	50歳代	148	6	23	87	18	14	—	2.93
	60歳代	191	21	36	103	12	14	5	3.20
	70歳以上	213	11	42	102	12	22	24	3.04

[表 10 - 1 人権の視点から問題のある行為について (性・年齢別) ②]

オ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	104	238	338	78	42	36	3.36	
性別	男性	343	51	99	117	43	20	13	3.36
	女性	457	49	131	209	35	18	15	3.36
年齢別	29歳以下	70	7	21	21	14	7	—	3.10
	30歳代	87	10	20	38	10	8	1	3.16
	40歳代	112	13	23	49	18	8	1	3.14
	50歳代	148	14	36	74	14	10	—	3.20
	60歳代	191	23	69	79	10	5	5	3.51
	70歳以上	213	35	67	74	12	3	22	3.62

カ 理由にかかわらず、不法滞在の外国人を日本国外に強制退去させること

(上段:人、下段:%)

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	58	132	276	162	170	38	2.68	
性別	男性	343	30	51	96	69	85	12	2.61
	女性	457	26	78	172	88	75	18	2.75
年齢別	29歳以下	70	7	18	19	13	12	1	2.93
	30歳代	87	5	9	23	28	21	1	2.41
	40歳代	112	6	17	35	28	25	1	2.56
	50歳代	148	6	24	62	28	28	—	2.68
	60歳代	191	15	31	65	30	43	7	2.70
	70歳以上	213	19	32	69	34	38	21	2.79

キ 妊娠した女性に親や夫の親などが、出生前診断(胎児の染色体異常を調べる検査)を受けるように要求すること

	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	188	182	299	81	49	37	3.47	
性別	男性	343	66	75	123	39	26	14	3.35
	女性	457	115	100	165	41	21	15	3.56
年齢別	29歳以下	70	11	13	29	10	7	—	3.16
	30歳代	87	20	22	22	15	7	1	3.38
	40歳代	112	28	27	42	10	4	1	3.59
	50歳代	148	32	31	67	9	8	1	3.48
	60歳代	191	46	40	68	24	7	6	3.51
	70歳以上	213	51	46	67	13	15	21	3.55

ク さまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること

(上段:人、下段:%)

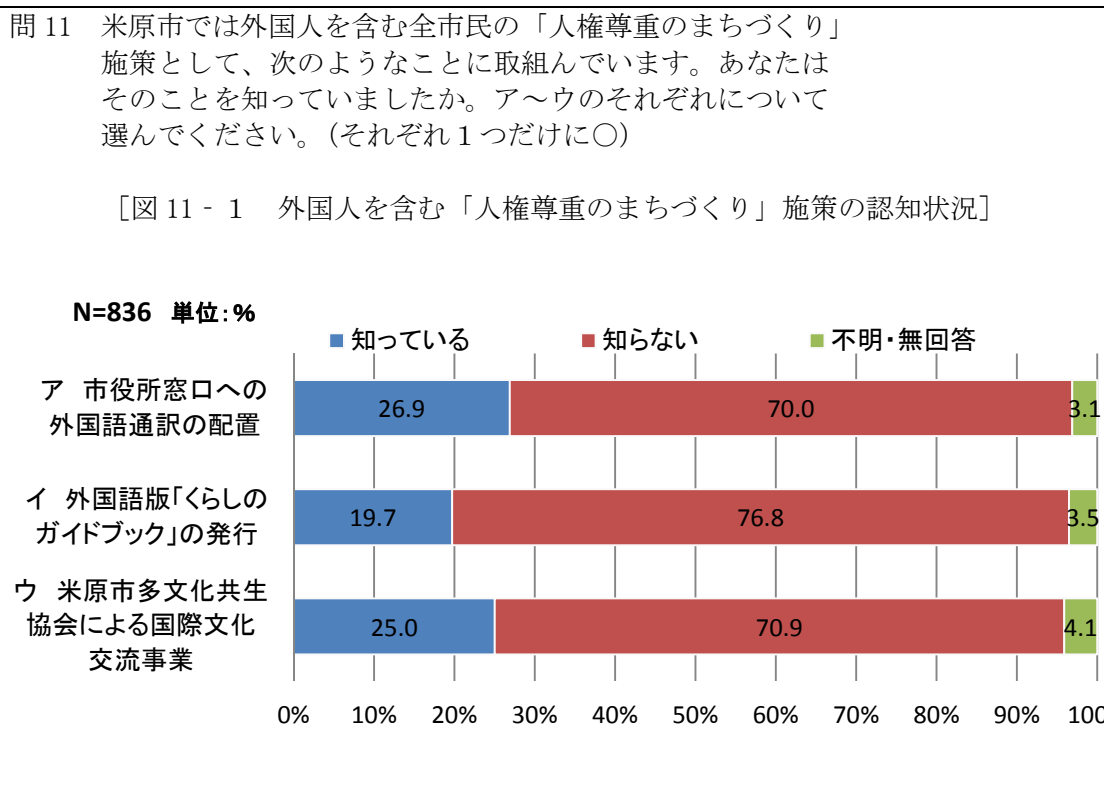
	回答者数	そう思う	どちらかという	ない	どちらともいえない	どちらかという	そう思わない	不明・無回答	平均評価点
総数	836	32	56	297	144	271	36	2.29	
性別	男性	343	14	17	112	56	131	13	2.17
	女性	457	17	36	173	86	129	16	2.38
年齢別	29歳以下	70	5	7	18	11	28	1	2.28
	30歳代	87	4	10	27	13	32	1	2.31
	40歳代	112	9	5	41	27	29	1	2.44
	50歳代	148	2	11	66	31	37	1	2.39
	60歳代	191	6	15	73	34	59	4	2.33
	70歳以上	213	6	8	67	27	84	21	2.09

性別では、平均評価点について男女間に大きな格差がみられるものではなく、「エ 国際的にみて、日本が難民の受け入れに消極的であること」と「ク さまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること」で男女の平均評価点に 0.2 ほどの差がみられる程度である。

年齢別では、年齢が若くなるほど平均評価点が上昇するという傾向がみられるのは「ア 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと」だけで、前述の家族に関わる人権(問8)についての多くの項目で、年齢が若くなるほど平均評価点が上昇していたのと、非常に対照的である。そして、29歳以下の平均評価点が最も高くなっているのは、

「ア 就職の面接で、人事担当者が就職希望者の家族構成を聞くこと」以外では、「カ 理由にかかわらず、不法滞在の外国人を日本国外に強制退去させること」だけで、「オ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと」と「キ 妊娠した女性に親や夫の親などが、出生前診断を受けるように要求すること」では、29 歳以下の平均評価点が最も低くなっている。そして、「イ 凶悪事件の場合は、未成年であっても犯人の実名を公表すること」「ウ 中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、ズボンが認められていないこと」「エ 国際的にみて、日本が難民の受け入れに消極的であること」「カ 理由にかかわらず、不法滞在の外国人を日本国外に強制退去させること」については、30 歳代の平均評価点が最も低くなっている。このように、29 歳以下と 30 歳代の平均評価点が最も低くなっている項目が目立つことに加え、「イ 凶悪事件の場合は、未成年であっても犯人の実名を公表すること」と「オ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと」については、70 歳以上で、「ウ 中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、ズボンが認められていないこと」と「エ 国際的にみて、日本が難民の受け入れに消極的であること」については 60 歳代で、平均評価点がそれぞれ最も高くなっていることと合わせてみると、新しい人権課題に関しては若い年齢層の理解が低いといえよう。

11 外国人を含む「人権尊重のまちづくり」施策の認知状況



外国人を含む人権施策の認知状況は高いとはいえず、「知っている」の割合は、「ア 市役所窓口への外国語通訳の配置」で 26.9%、「ウ 米原市多文化共生協会による国際文化交流事業」で 25.0%、「イ 外国語版「暮らしのガイドブック」の発行」で 19.7%となっており、「知らない」の割合は、3つの項目とも約7割となっている。

[表 11 - 1 外国人を含む「人権尊重のまちづくり」施策の認知状況 (性・年齢別)]

		ア 市役所窓口への外国語通訳の配置				イ 外国語版「暮らしのガイドブック」の発行				ウ 米原市多文化共生協会による国際文化交流事業			
		回答者数	知っている	知らない	不明・無回答	回答者数	知っている	知らない	不明・無回答	回答者数	知っている	知らない	不明・無回答
総数		836	225	585	26	836	165	642	29	836	209	593	34
		100.0	26.9	70.0	3.1	100.0	19.7	76.8	3.5	100.0	25.0	70.9	4.1
性別	男性	343	91	242	10	343	73	259	11	343	91	240	12
		100.0	26.5	70.6	2.9	100.0	21.3	75.5	3.2	100.0	26.5	70.0	3.5
女性		457	125	322	10	457	83	363	11	457	110	332	15
		100.0	27.4	70.5	2.2	100.0	18.2	79.4	2.4	100.0	24.1	72.6	3.3
年齢別	29歳以下	70	14	56	—	70	14	56	—	70	9	61	—
		100.0	20.0	80.0	—	100.0	20.0	80.0	—	100.0	12.9	87.1	—
	30歳代	87	23	63	1	87	14	72	1	87	15	71	1
		100.0	26.4	72.4	1.1	100.0	16.1	82.8	1.1	100.0	17.2	81.6	1.1
	40歳代	112	31	80	1	112	19	92	1	112	22	89	1
		100.0	27.7	71.4	0.9	100.0	17.0	82.1	0.9	100.0	19.6	79.5	0.9
	50歳代	148	51	96	1	148	38	110	—	148	44	104	—
	100.0	34.5	64.9	0.7	100.0	25.7	74.3	—	100.0	29.7	70.3	—	
60歳代	191	63	122	6	191	44	139	8	191	71	111	9	
	100.0	33.0	63.9	3.1	100.0	23.0	72.8	4.2	100.0	37.2	58.1	4.7	
70歳以上	213	41	160	12	213	34	166	13	213	47	149	17	
	100.0	19.2	75.1	5.6	100.0	16.0	77.9	6.1	100.0	22.1	70.0	8.0	

(上段:人、下段:%)

性別では、男女の間に大きな差はみられない。

年齢別でみて、「知っている」の割合が最も高いのは、「ア 市役所窓口への外国語通訳の配置」と「イ 外国語版「暮らしのガイドブック」の発行」については50歳代、「ウ 米原市多文化共生協会による国際文化交流事業」については60歳代で、29歳以下と70歳以上の認知度が低くなっている。

[表 11 - 2 外国人を含む「人権尊重のまちづくり」施策の認知状況（経年比較）]

(単位: %)

		知っている	知らない	不明・無回答
ア 市役所窓口への外国語通訳の配置	2012年	30.3	65.8	3.9
	2017年	26.9	70.0	3.1
イ 外国語版「暮らしのガイドブック」の発行	2012年	17.1	77.2	5.8
	2017年	19.7	76.8	3.5
ウ 米原市多文化共生協会による国際文化交流事業	2012年	6.2	87.5	6.3
	2017年	25.0	70.9	4.1

※ 「ウ」については、2012年では「米原市多文化共生協会の発足」についての認知度となる。

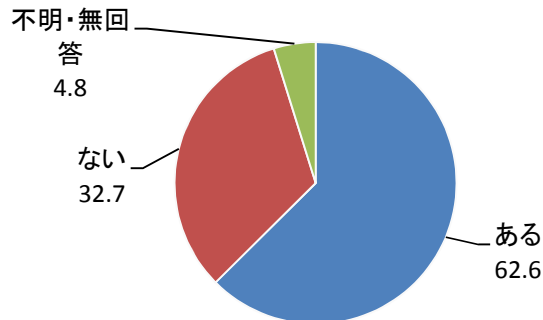
経年比較では、「ア 市役所窓口への外国語通訳の配置」と「イ 外国語版「暮らしのガイドブック」の発行」については、大きな変化はみられないが、「ウ 米原市多文化共生協会による国際文化交流事業」の割合が大幅に増えている。ただし、これは設問の内容が異なるため、厳密な比較はできない。

12 学校での人権教育について

問 12 あなたは、学校で差別や人権に関する教育を受けたことがありますか。(1つだけに○)

[図 12 - 1 学校での人権教育について]

N=836 単位: %



学校で差別や人権に関する教育を受けた人は62.6%で、受けたことがない人は32.7%である。

[表 12 - 1 学校での人権教育について (性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

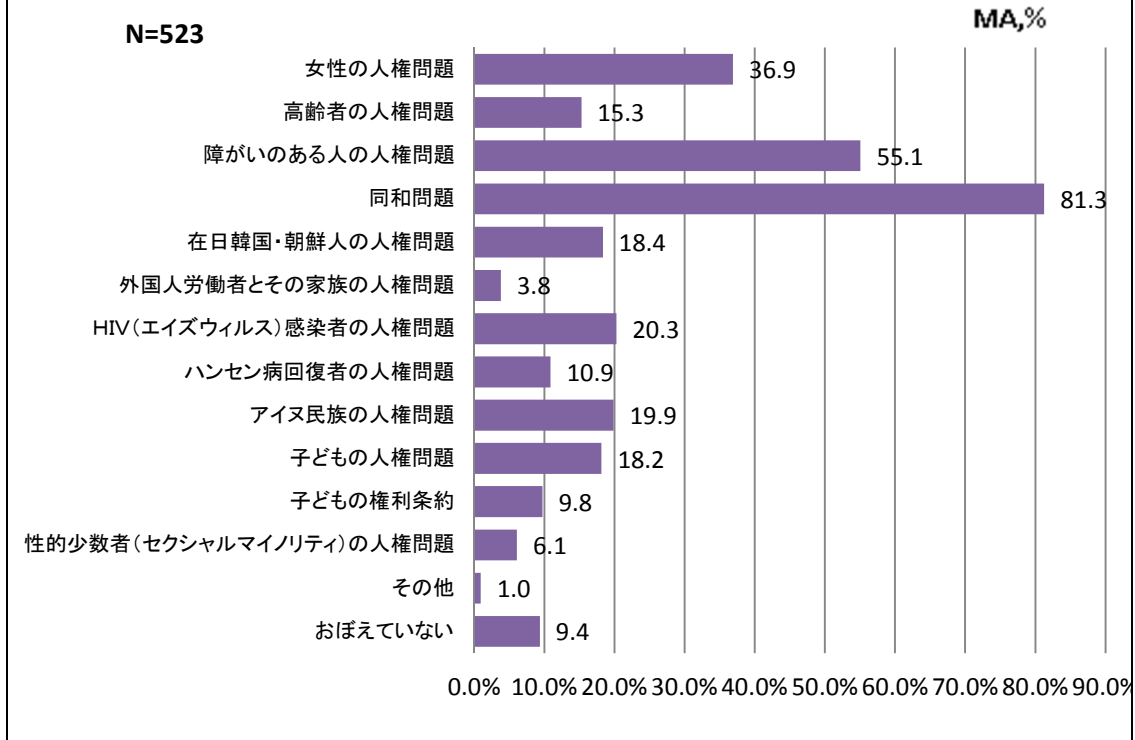
		回答者数	ある	ない	不明・無回答
総数		836 100.0	523 62.6	273 32.7	40 4.8
性別	男性	343 100.0	200 58.3	127 37.0	16 4.7
	女性	457 100.0	307 67.2	130 28.4	20 4.4
年齢別	29歳以下	70 100.0	62 88.6	7 10.0	1 1.4
	30歳代	87 100.0	74 85.1	11 12.6	2 2.3
	40歳代	112 100.0	93 83.0	17 15.2	2 1.8
	50歳代	148 100.0	123 83.1	25 16.9	— —
	60歳代	191 100.0	96 50.3	83 43.5	12 6.3
	70歳以上	213 100.0	70 32.9	124 58.2	19 8.9

性別では、受けたことがあるのは女性のほうが多い。これは学校で差別や人権について教わったことを覚えている人が女性に多いということであろう。

年齢別では、29歳以下から50歳代にかけて、人権教育を受けたという人の割合が80%台となっているが、その割合は60歳代になると50.3%、70歳以上では32.9%と、大幅に低下している。これは60歳代が小中高に在籍していたころから人権教育の取り組みが本格化し始め、50歳代が小中高に在籍していたころになると、人権教育が広く行われるようになったのであろう。

問 12 - 1 問 12 で「ある」と回答された人にお聞きします。
 どのような内容を教わりましたか。(〇はいくつでも)

[図 12 - 2 教育を受けた内容について]



教育を受けた内容についてみると、「同和問題」が 81.3%と、最も多く、「障がいのある人の 인권問題」(55.1%)、「女性の 인권問題」(36.9%) がこれにつづく。

[表 12 - 2 教育を受けた内容について (性・年齢別)]

		(上段:人、下段:%)														
		回答者数	女性の 人の 인권問題	高齢者の 人の 인권問題	障がい のある 人の 인권問題	同和 問題	在日 韓国・ 朝鮮 人の 인권問題	外国 人労働 者との 인권問題	HIV (エイズ ウイルス) 感染者 の 인권問題	ハン セン 病回 復者 の 인권問題	アイ ヌ民 族の 인권問題	子 ども の 인권問題	子 ども の 権利 条約	性的 少数 者(セ クシャ ルマイ ノリテ ィ)の 인권 問題	その他	おぼ えて いな い
総数		523	193	80	288	425	96	20	106	57	104	95	51	32	5	49
		100.0	36.9	15.3	55.1	81.3	18.4	3.8	20.3	10.9	19.9	18.2	9.8	6.1	1.0	9.4
性別	男性	200	74	35	109	175	43	9	38	20	40	30	18	11	2	16
		100.0	37.0	17.5	54.5	87.5	21.5	4.5	19.0	10.0	20.0	15.0	9.0	5.5	1.0	8.0
性別	女性	307	113	42	172	237	51	11	67	35	62	64	33	21	3	32
		100.0	36.8	13.7	56.0	77.2	16.6	3.6	21.8	11.4	20.2	20.8	10.7	6.8	1.0	10.4
年齢別	29歳以下	62	36	14	58	33	15	7	39	6	27	26	18	9	1	3
		100.0	58.1	22.6	93.5	53.2	24.2	11.3	62.9	9.7	43.5	41.9	29.0	14.5	1.6	4.8
	30歳代	74	35	7	45	55	11	2	27	5	19	21	9	4	1	6
		100.0	47.3	9.5	60.8	74.3	14.9	2.7	36.5	6.8	25.7	28.4	12.2	5.4	1.4	8.1
	40歳代	93	32	10	51	84	20	2	11	8	21	11	4	7	1	8
		100.0	34.4	10.8	54.8	90.3	21.5	2.2	11.8	8.6	22.6	11.8	4.3	7.5	1.1	8.6
50歳代	123	37	11	55	110	24	4	13	12	12	13	11	8	2	9	
	100.0	30.1	8.9	44.7	89.4	19.5	3.3	10.6	9.8	9.8	10.6	8.9	6.5	1.6	7.3	
60歳代	96	25	18	38	78	15	1	9	13	13	11	3	2	—	15	
	100.0	26.0	18.8	39.6	81.3	15.6	1.0	9.4	13.5	13.5	11.5	3.1	2.1	—	15.6	
70歳以上	70	24	18	37	61	10	4	6	11	10	13	6	2	—	8	
	100.0	34.3	25.7	52.9	87.1	14.3	5.7	8.6	15.7	14.3	18.6	8.6	2.9	—	11.4	

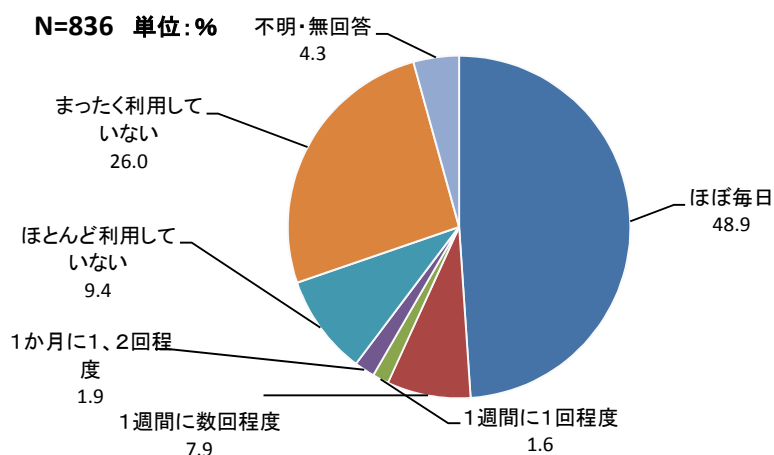
性別では、「同和問題」の割合が男性で 10 ポイントほど高いが、そのほかの人権課題については男女間に大きな差はみられない。

年齢別でみると、40 歳代から年齢が若くなるにしたがって、「同和問題」の割合が大幅に減少していることがわかる。そして、同様に年齢が若くなるにしたがって「障がいのある人の人権問題」や「女性の人権問題」など、同和問題以外の人権課題の割合が増加している。すなわち、30 歳代の人たちが小中高に在籍していたことから人権教育において同和問題を扱うことが少なくなり、同和問題以外の人権課題が取り上げられるようになったのである。この時期は 2002 年の同和対策事業に関わる特別措置法の終了と重なっており、同和対策事業の終了が人権教育における同和問題離れを加速したとみることができる。

13 インターネットの利用状況

問 13 あなたは、日常、仕事・私用を問わず、どのくらいの頻度でホームページの閲覧や電子メールの送受信といったインターネットを利用していますか。(1つだけに○)

[図 13 - 1 インターネットの利用状況]



インターネットの利用状況は、約半数の人が「ほぼ毎日」利用しており、「ほとんど利用していない」は 9.4%、「まったく利用していない」は 26.0%である。

[表 13 - 1 インターネットの利用状況 (性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

		回答者数	ほぼ毎日	程1度週間に数回	程1度週間に1回	21回か程月に1、	しほてといんなどいい利用	しまてったなくいい利用	不明・無回答
総数		836 100.0	409 48.9	66 7.9	13 1.6	16 1.9	79 9.4	217 26.0	36 4.3
性別	男性	343 100.0	171 49.9	41 12.0	4 1.2	10 2.9	32 9.3	69 20.1	16 4.7
	女性	457 100.0	230 50.3	24 5.3	8 1.8	6 1.3	44 9.6	130 28.4	15 3.3
年齢別	29歳以下	70 100.0	66 94.3	1 1.4	1 1.4	1 1.4	— —	— —	1 1.4
	30歳代	87 100.0	79 90.8	4 4.6	— —	— —	1 1.1	3 3.4	— —
	40歳代	112 100.0	94 83.9	4 3.6	— —	— —	7 6.3	6 5.4	1 0.9
	50歳代	148 100.0	98 66.2	18 12.2	2 1.4	4 2.7	9 6.1	15 10.1	2 1.4
	60歳代	191 100.0	49 25.7	27 14.1	5 2.6	5 2.6	29 15.2	65 34.0	11 5.8
	70歳以上	213 100.0	19 8.9	12 5.6	4 1.9	6 2.8	32 15.0	123 57.7	17 8.0

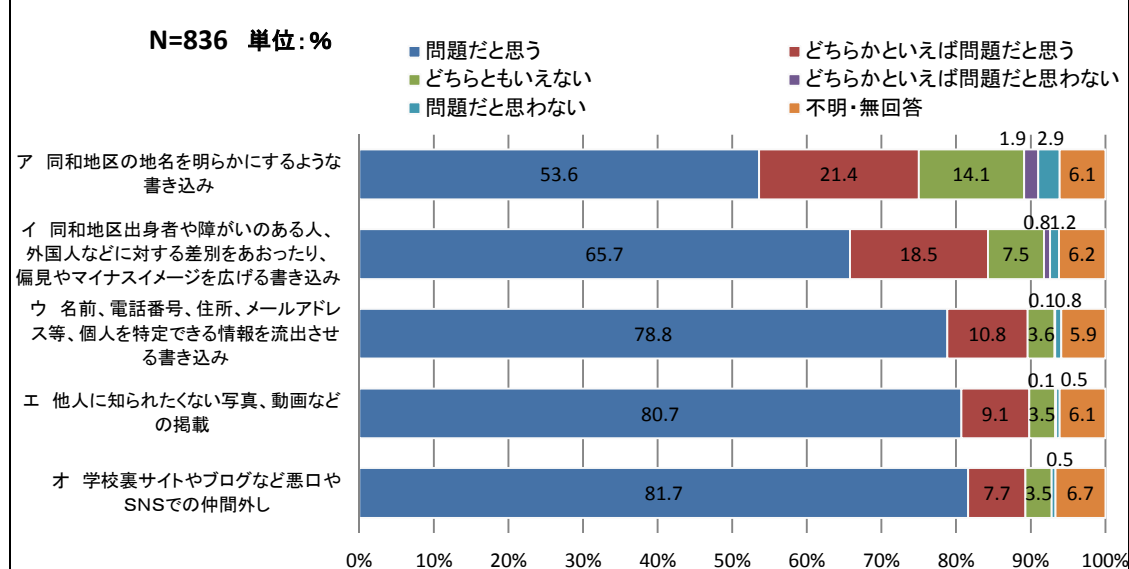
性別では、「ほぼ毎日」は男女とも同じで、違いといえば、「1週間に数回程度」が男性に多く、「まったく利用していない」が女性に多くみられる程度である。

年齢別では、年齢が若くなるほど「ほぼ毎日」の割合は上昇し、年齢が上がるほど「まったく利用しない」の割合が上昇しているというように、年齢による差が大きくなっている。

14 インターネット上での書き込みについて

問 14 携帯やスマホ、パソコンなどのインターネット上で、
 下記のような書き込みや行為についてどう思いますか。
 ア～オのそれぞれについて選んでください。(それぞれ1つだけに○)

[図 14 - 1 インターネット上の書き込みについて]



インターネット上でのさまざまな書き込みについて問題だと思うか問うたところ、「問題だと思う」の割合は、「ウ 名前、電話番号、住所、メールアドレス等、個人を特定できる情報を流出させる書き込み」「エ 他人に知られたくない写真、動画の掲載」「オ 学校裏サイトやブログなど悪口や SNS での仲間外し」がいずれも 80%前後の大きさとなっているのに対し、「イ 同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み」は 65.7%、「ア 同和地区の記名を明らかにするような書き込み」は 53.6%と、そうした書き込みを問題だと思う人が少なくなっている。個人を特定できる情報を流出させることや他人に知られたくない写真などが掲載されることが問題であるのは言うまでもないが、同和地区出身者などに対する差別をあおったり、偏見などを広げる書き込みも、同じように問題であるはずだ。しかし、今回の調査結果からは、同和地区出身者などへの差別を個人情報の流出よりも軽くみる市民が少なからずいることがわかる。自分自身に関わる問題は大事だが、被差別者に対する差別は自分とは関係がないので、問題であると考えないのであろうか。

[表 14 - 1 インターネット上の書き込みについて (性・年齢別) ①]

ア 同和地区の地名を明らかにするような書き込み

		回答者数	問題だと思ふ	思えばどちらかという	どちらともいえない	思わぬ問題だとい	どちらかかとい	ない問題だと思わ	不明・無回答
総数		836 100.0	448 53.6	179 21.4	118 14.1	16 1.9	24 2.9	51 6.1	
性別	男性	343 100.0	189 55.1	74 21.6	49 14.3	5 1.5	9 2.6	17 5.0	
	女性	457 100.0	246 53.8	101 22.1	60 13.1	11 2.4	14 3.1	25 5.5	
年齢別	29歳以下	70 100.0	36 51.4	20 28.6	11 15.7	—	2 2.9	1 1.4	
	30歳代	87 100.0	42 48.3	24 27.6	13 14.9	3 3.4	4 4.6	1 1.1	
	40歳代	112 100.0	68 60.7	24 21.4	16 14.3	2 1.8	1 0.9	1 0.9	
	50歳代	148 100.0	93 62.8	26 17.6	22 14.9	4 2.7	3 2.0	—	
	60歳代	191 100.0	100 52.4	49 25.7	26 13.6	5 2.6	5 2.6	6 3.1	
	70歳以上	213 100.0	106 49.8	35 16.4	26 12.2	2 0.9	8 3.8	36 16.9	

イ 同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み

(上段:人、下段:%)

		回答者数	問題だと思ふ	思えばどちらかという	どちらともいえない	思わぬ問題だとい	どちらかかとい	ない問題だと思わ	不明・無回答
総数		836 100.0	549 65.7	155 18.5	63 7.5	7 0.8	10 1.2	52 6.2	
性別	男性	343 100.0	230 67.1	61 17.8	27 7.9	4 1.2	4 1.2	17 5.0	
	女性	457 100.0	303 66.3	89 19.5	31 6.8	3 0.7	6 1.3	25 5.5	
年齢別	29歳以下	70 100.0	53 75.7	10 14.3	4 5.7	—	2 2.9	1 1.4	
	30歳代	87 100.0	57 65.5	20 23.0	6 6.9	2 2.3	1 1.1	1 1.1	
	40歳代	112 100.0	78 69.6	26 23.2	4 3.6	2 1.8	1 0.9	1 0.9	
	50歳代	148 100.0	106 71.6	27 18.2	13 8.8	2 1.4	—	—	
	60歳代	191 100.0	129 67.5	40 20.9	13 6.8	—	3 1.6	6 3.1	
	70歳以上	213 100.0	123 57.7	30 14.1	21 9.9	1 0.5	2 0.9	36 16.9	

ウ 名前、電話番号、住所、メールアドレス等、個人を特定できる情報を流出させる書き込み

		回答者数	問題だと思ふ	思えばどちらかという	どちらともいえない	思わぬ問題だとい	どちらかかとい	ない問題だと思わ	不明・無回答
総数		836 100.0	659 78.8	90 10.8	30 3.6	1 0.1	7 0.8	49 5.9	
性別	男性	343 100.0	263 76.7	45 13.1	16 4.7	1 0.3	2 0.6	16 4.7	
	女性	457 100.0	379 82.9	39 8.5	11 2.4	—	5 1.1	23 5.0	
年齢別	29歳以下	70 100.0	61 87.1	5 7.1	1 1.4	—	2 2.9	1 1.4	
	30歳代	87 100.0	76 87.4	6 6.9	4 4.6	—	—	1 1.1	
	40歳代	112 100.0	99 88.4	9 8.0	3 2.7	—	—	1 0.9	
	50歳代	148 100.0	126 85.1	15 10.1	7 4.7	—	—	—	
	60歳代	191 100.0	152 79.6	29 15.2	4 2.1	—	2 1.0	4 2.1	
	70歳以上	213 100.0	142 66.7	23 10.8	10 4.7	1 0.5	2 0.9	35 16.4	

エ 他人に知られたくない写真、動画などの掲載

(上段:人、下段:%)

		回答者数	問題だと思ふ	思えばどちらかという	どちらともいえない	思わぬ問題だとい	どちらかかとい	ない問題だと思わ	不明・無回答
総数		836 100.0	675 80.7	76 9.1	29 3.5	1 0.1	4 0.5	51 6.1	
性別	男性	343 100.0	269 78.4	43 12.5	13 3.8	1 0.3	—	17 5.0	
	女性	457 100.0	386 84.5	31 6.8	13 2.8	—	3 0.7	24 5.3	
年齢別	29歳以下	70 100.0	62 88.6	4 5.7	2 2.9	—	1 1.4	1 1.4	
	30歳代	87 100.0	75 86.2	8 9.2	2 2.3	1 1.1	—	1 1.1	
	40歳代	112 100.0	97 86.6	13 11.6	1 0.9	—	—	1 0.9	
	50歳代	148 100.0	128 86.5	14 9.5	6 4.1	—	—	—	
	60歳代	191 100.0	160 83.8	21 11.0	4 2.1	—	1 0.5	5 2.6	
	70歳以上	213 100.0	149 70.0	15 7.0	13 6.1	—	—	36 16.9	

[表 14 - 1 インターネット上の書き込みについて (性・年齢別) ②]

オ 学校裏サイトやブログなど悪口やSNSでの仲間外し

(上段:人、下段:%)

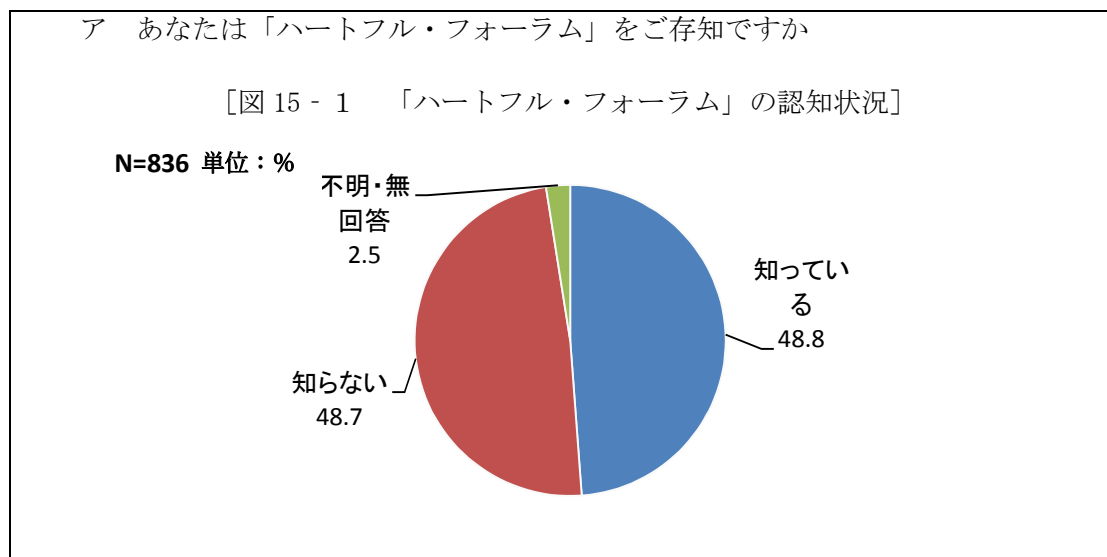
		回 答 者 数	問 題 だ と 思 う	思 え ど う ば ち う 問 題 だ と い	え ど な い ら と も い	思 え ど わ な い 問 題 だ と い	な 問 題 だ と 思 わ	不 明 ・ 無 回 答
総数		836 100.0	683 81.7	64 7.7	29 3.5	— —	4 0.5	56 6.7
性別	男性	343 100.0	277 80.8	33 9.6	13 3.8	— —	— —	20 5.8
	女性	457 100.0	387 84.7	28 6.1	12 2.6	— —	4 0.9	26 5.7
年齢別	29歳以下	70 100.0	61 87.1	5 7.1	1 1.4	— —	2 2.9	1 1.4
	30歳代	87 100.0	76 87.4	8 9.2	1 1.1	— —	— —	2 2.3
	40歳代	112 100.0	100 89.3	10 8.9	1 0.9	— —	— —	1 0.9
	50歳代	148 100.0	128 86.5	12 8.1	8 5.4	— —	— —	— —
	60歳代	191 100.0	158 82.7	20 10.5	5 2.6	— —	1 0.5	7 3.7
	70歳以上	213 100.0	156 73.2	8 3.8	11 5.2	— —	— —	38 17.8

性別では、「ウ 名前、電話番号、住所、メールアドレス等、個人を特定できる情報を流出させる書き込み」「エ 他人に知られたくない写真、動画の掲載」「オ 学校裏サイトやブログなど悪口や SNS での仲間外し」では「問題だと思う」の割合が女性でやや高くなっている程度で、男女の違いはほとんどみられない。

年齢別にみると、「問題だと思う」の割合は、「ア 同和地区の地名を明らかにするような書き込み」では 50 歳代で最も高くなっており、「イ 同和地区出身者や障がいのある人、外国人などに対する差別をあおったり、偏見やマイナスイメージを広げる書き込み」では 29 歳以下で最も高くなっている。「ウ 名前、電話番号、住所、メールアドレス等、個人を特定できる情報を流出させる書き込み」「エ 他人に知られたくない写真、動画の掲載」「オ 学校裏サイトやブログなど悪口や SNS での仲間外し」については、共通して 50 歳代までの各年齢層で「問題だと思う」の割合がそれぞれ 85%以上となっている。

15 「ハートフル・フォーラム」(地区別懇談会)について

問 15 米原市では、お互いの人権が尊重され、明るく住みよい地域社会を実現するために、平成17年度から「ハートフル・フォーラム」(地区別懇談会)を開催しています。以下の間にお答えください。(それぞれ1つだけに○)



「ハートフル・フォーラム」については、「知っている」が48.8%、「知らない」が48.7%と、ほとんど同数となっている。

[表 15 - 1 「ハートフル・フォーラム」の認知状況(性・年齢別)]

(上段:人、下段:%)

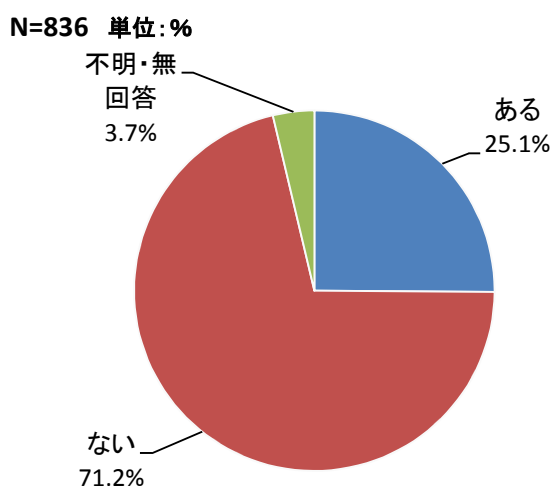
		回答者数	知っている	知らない	不明・無回答
総数		836	408	407	21
		100.0	48.8	48.7	2.5
性別	男性	343	190	148	5
		100.0	55.4	43.1	1.5
性別	女性	457	204	243	10
		100.0	44.6	53.2	2.2
年齢別	29歳以下	70	10	59	1
		100.0	14.3	84.3	1.4
	30歳代	87	17	69	1
		100.0	19.5	79.3	1.1
	40歳代	112	47	65	—
		100.0	42.0	58.0	—
	50歳代	148	95	53	—
	100.0	64.2	35.8	—	
年齢別	60歳代	191	120	67	4
		100.0	62.8	35.1	2.1
年齢別	70歳以上	213	118	86	9
		100.0	55.4	40.4	4.2

性別では、「知っている」は男性に多く、その割合は女性を 11 ポイントほど上回っている。

年齢別では、50 歳代、60 歳代まで、年齢が高くなるほど「知っている」の割合が大きくなっている。

イ あなたは、過去 5 年間で「ハートフル・フォーラム」に参加したことがありますか。

[図 15 - 2 「ハートフル・フォーラム」の参加状況]



「ハートフル・フォーラム」に参加したことがある人は 25.1%で、ない人 (71.2%) を大きく下回っている。

[表 15 - 2 「ハートフル・フォーラム」の参加状況 (性・年齢別)]

(上段: 人、下段: %)

		回答者数	ある	ない	不明・無回答
総数		836	210	595	31
		100.0	25.1	71.2	3.7
性別	男性	343	127	206	10
		100.0	37.0	60.1	2.9
性別	女性	457	77	367	13
		100.0	16.8	80.3	2.8
年齢別	29歳以下	70	3	66	1
		100.0	4.3	94.3	1.4
	30歳代	87	5	81	1
		100.0	5.7	93.1	1.1
	40歳代	112	15	97	—
		100.0	13.4	86.6	—
	50歳代	148	51	97	—
	100.0	34.5	65.5	—	
年齢別	60歳代	191	72	113	6
		100.0	37.7	59.2	3.1
年齢別	70歳以上	213	64	132	17
		100.0	30.0	62.0	8.0

参加したことがある人は、性別では男性に多く（その割合は女性の2倍以上）、年齢別では40歳代、50歳代に多く（35%前後）、29歳以下で少ない。

[表 15 - 3 「ハートフル・フォーラム」の認知・参加状況（経年比較）]

(単位: %)

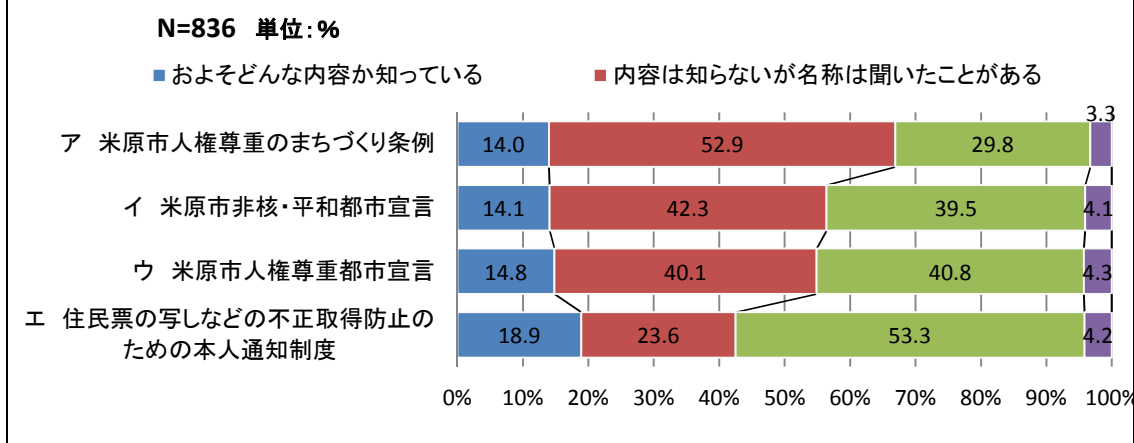
		知っている	知らない	不明・無回答
ア ハートフル・フォーラムの認知度	2012年	43.0	52.2	4.8
	2017年	48.8	48.7	2.5
		ある	ない	不明・無回答
イ ハートフル・フォーラムへの参加経験	2012年	21.6	73.4	5.0
	2017年	25.1	71.2	3.7

2012年と比べて、「知っている」の割合は5.8ポイント、参加したことが「ある」の割合は4.5ポイント、それぞれ増えている。

16 米原市の人権施策等の認知状況

問 16 あなたは、自治や人権に関する米原市の条例や宣言、施策について、どの程度ご存知ですか。ア～エのそれぞれについて選んでください。（それぞれ1つだけに○）

[図 16 - 1 米原市の人権施策等の認知状況]



「およそどんな内容か知っている」は、「ア 米原市人権尊重のまちづくり条例」「イ 米原市非核・平和都市宣言」「ウ 米原市人権尊重都市宣言」についてそれぞれ14%台で、「エ 住民票の写しなどの不正取得防止のための本人通知制度」については18.9%となっている。「知らなかった」の割合は、「ア 米原市人権尊重のまちづく

り条例」「イ米原市非核・平和都市宣言」「ウ 米原市人権尊重都市宣言」「エ 住民票の写しなどの不正取得防止のための本人通知制度」の順に大きくなり、「エ 住民票の写しなどの不正取得防止のための本人通知制度」については53.3%である。

[表 16 - 1 米原市の人権施策等の認知状況（性・年齢別）①]

ア 米原市人権尊重のまちづくり条例

イ 米原市非核・平和都市宣言

(上段:人、下段:%)

		回答者数	およそ んな内容 か知ってい る	内容は 知らない が名称 は聞いた ことがある	知らな かった	不明・ 無回答
総数		836 100.0	117 14.0	442 52.9	249 29.8	28 3.3
性別	男性	343 100.0	66 19.2	186 54.2	82 23.9	9 2.6
	女性	457 100.0	46 10.1	243 53.2	156 34.1	12 2.6
年齢別	29歳以下	70 100.0	4 5.7	22 31.4	43 61.4	1 1.4
	30歳代	87 100.0	3 3.4	29 33.3	54 62.1	1 1.1
	40歳代	112 100.0	10 8.9	61 54.5	41 36.6	— —
	50歳代	148 100.0	24 16.2	89 60.1	35 23.6	— —
	60歳代	191 100.0	34 17.8	125 65.4	27 14.1	5 2.6
	70歳以上	213 100.0	41 19.2	113 53.1	44 20.7	15 7.0

		回答者数	およそ んな内容 か知ってい る	内容は 知らない が名称 は聞いた ことがある	知らな かった	不明・ 無回答
総数		836 100.0	118 14.1	354 42.3	330 39.5	34 4.1
性別	男性	343 100.0	65 19.0	162 47.2	104 30.3	12 3.5
	女性	457 100.0	46 10.1	182 39.8	214 46.8	15 3.3
年齢別	29歳以下	70 100.0	4 5.7	13 18.6	52 74.3	1 1.4
	30歳代	87 100.0	4 4.6	27 31.0	55 63.2	1 1.1
	40歳代	112 100.0	13 11.6	46 41.1	53 47.3	— —
	50歳代	148 100.0	19 12.8	76 51.4	53 35.8	— —
	60歳代	191 100.0	31 16.2	103 53.9	51 26.7	6 3.1
	70歳以上	213 100.0	46 21.6	87 40.8	60 28.2	20 9.4

[表 16 - 1 米原市の人権施策等の認知状況（性・年齢別）②]

ウ 米原市人権尊重都市宣言

		回答者数	およそどんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	不明・無回答
総数		836 100.0	124 14.8	335 40.1	341 40.8	36 4.3
性別	男性	343 100.0	76 22.2	143 41.7	113 32.9	11 3.2
	女性	457 100.0	40 8.8	183 40.0	216 47.3	18 3.9
年齢別	29歳以下	70 100.0	2 2.9	14 20.0	53 75.7	1 1.4
	30歳代	87 100.0	4 4.6	26 29.9	56 64.4	1 1.1
	40歳代	112 100.0	7 6.3	44 39.3	61 54.5	—
	50歳代	148 100.0	24 16.2	68 45.9	56 37.8	—
	60歳代	191 100.0	37 19.4	100 52.4	48 25.1	6 3.1
	70歳以上	213 100.0	50 23.5	81 38.0	61 28.6	21 9.9

エ 住民票の写しなどの不正取得防止のための本人通知制度

(上段:人、下段:%)

		回答者数	およそどんな内容か知っている	内容は知らないが名称は聞いたことがある	知らなかった	不明・無回答
総数		836 100.0	158 18.9	197 23.6	446 53.3	35 4.2
性別	男性	343 100.0	80 23.3	95 27.7	157 45.8	11 3.2
	女性	457 100.0	73 16.0	93 20.4	273 59.7	18 3.9
年齢別	29歳以下	70 100.0	2 2.9	8 11.4	59 84.3	1 1.4
	30歳代	87 100.0	8 9.2	11 12.6	67 77.0	1 1.1
	40歳代	112 100.0	16 14.3	22 19.6	74 66.1	—
	50歳代	148 100.0	35 23.6	48 32.4	65 43.9	—
	60歳代	191 100.0	49 25.7	50 26.2	85 44.5	7 3.7
	70歳以上	213 100.0	48 22.5	55 25.8	91 42.7	19 8.9

「およそどんな内容か知っている」の割合は、性別ではすべての項目で男性のほうが高くなっており、年齢別では年齢が上昇するほど高くなっている（「エ 住民票の写しなどの不正取得防止のための本人通知制度」については60歳代まで高くなっている）。

[表 16 - 2 米原市の人権施策等の認知状況（経年比較）]

(単位:%)

		2009年	2012年	2017年
ア 米原市人権尊重のまちづくり条例	およそどんな内容か知っている	13.5	14.6	14.0
	内容は知らないが名称は聞いたことがある	58.1	51.5	52.9
	知らなかった	25.2	28.2	29.8
イ 米原市非核・平和都市宣言	不明・無回答	3.2	5.7	3.3
	およそどんな内容か知っている	15.2	14.1	14.1
	内容は知らないが名称は聞いたことがある	36.4	40.6	42.3
ウ 米原市人権尊重都市宣言	知らなかった	44.2	39.0	39.5
	不明・無回答	4.3	6.2	4.1
	およそどんな内容か知っている	14.1	13.7	14.8
エ 住民票の写しなどの不正取得防止のための本人通知制度	内容は知らないが名称は聞いたことがある	43.4	41.0	40.1
	知らなかった	38.0	39.0	40.8
	不明・無回答	4.5	6.2	4.3

※ 「エ 住民票の写しなどの不正取得防止のための本人通知制度」は、今回からの調査項目であるため、経年変化のデータはない。

2009年、2012年と比べて、認知状況に大きな違いはみられないが、「イ 米原市非核・平和都市宣言」について「内容は知らないが名称は聞いたことがある」の割合がやや増え、「知らなかった」が少し減少している。

17 調査項目間のクロス集計

ここでは、問9の憲法に定められた国民の権利について、その理解の程度を3段階に分類し、その段階により人権意識にどのような違いがあるのか、みることにする。

以下、問9の回答において、正答である「思っていることを世間に発表する」「人間らしい暮らしをする」「労働組合をつくる」の3つだけを選択した回答者を「完全正解者」、正答である3つのうち一部だけを選択するか、これらの3つすべて、または一部を選択したうえで他の項目も選択した回答者を「部分正解者」、正答である3つ以外の項目だけを選択した回答者を「不正解者」として分類した。

「完全正解者」は112名、「部分正解者」は616名、「不正解者」は88名であった。

[表 17 - 1 完全正解者、部分正解者、不正解者 (性・年齢別)]

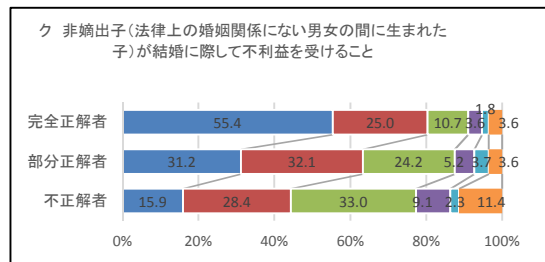
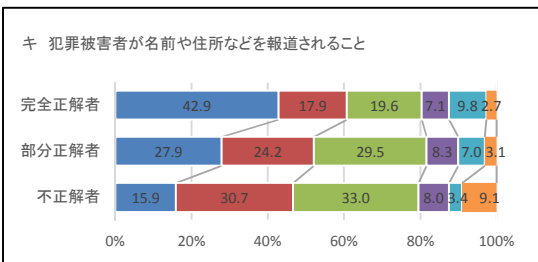
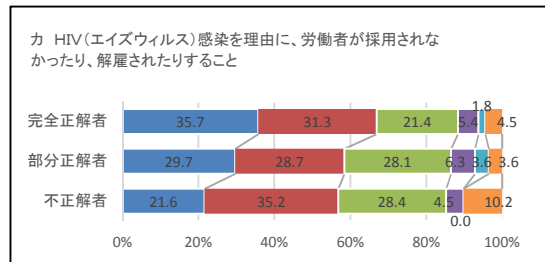
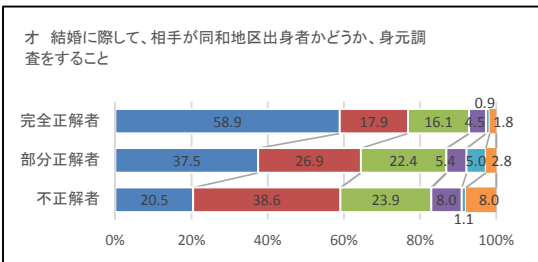
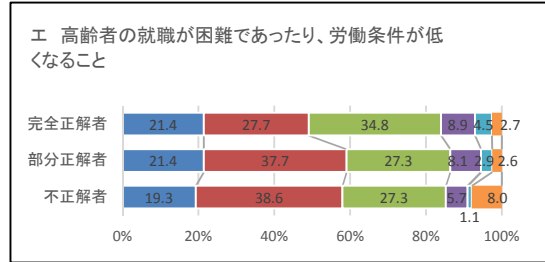
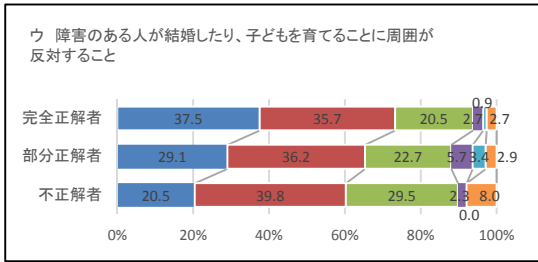
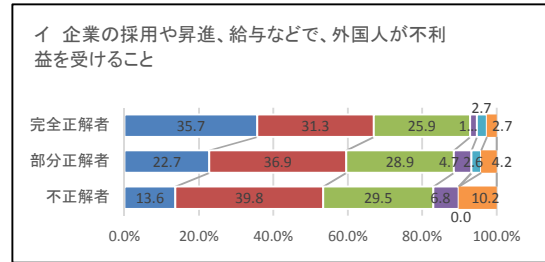
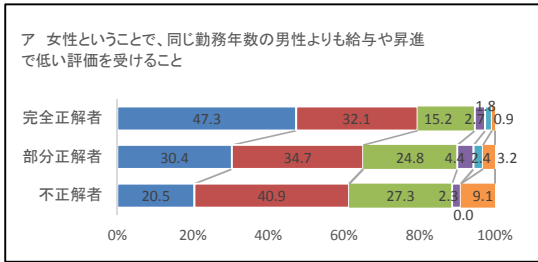
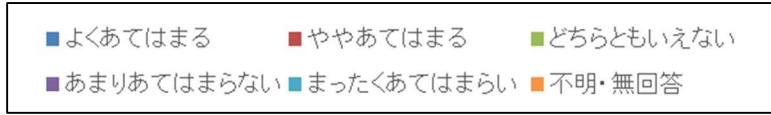
		(上段:人、下段:%)				
		回答者数	完全正解者	部分正解者	不正解者	不明・無回答
総数		836 100.0	112 13.4	616 73.7	88 10.5	20 2.4
性別	男性	343 100.0	58 16.9	251 73.2	27 7.9	7 2.0
	女性	457 100.0	50 10.9	344 75.3	55 12.0	8 1.8
年齢別	29歳以下	70 100.0	13 18.6	47 67.1	10 14.3	0 0.0
	30歳代	87 100.0	15 17.2	56 64.4	14 16.1	2 2.3
	40歳代	112 100.0	12 10.7	95 84.8	4 3.6	1 0.9
	50歳代	148 100.0	23 15.5	112 75.7	12 8.1	1 0.7
	60歳代	191 100.0	25 13.1	141 73.8	22 11.5	3 1.6
	70歳以上	213 100.0	23 10.8	157 73.7	24 11.3	9 4.2

性別で見ると、「完全正解者」は男性のほうにやや多く、「不正解者」は女性のほうにやや多くなっている。

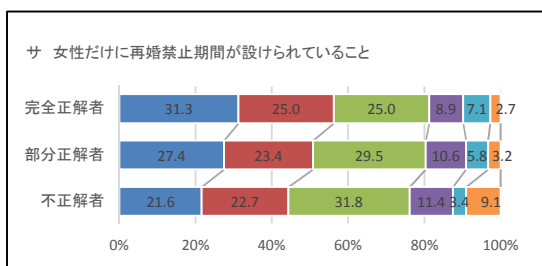
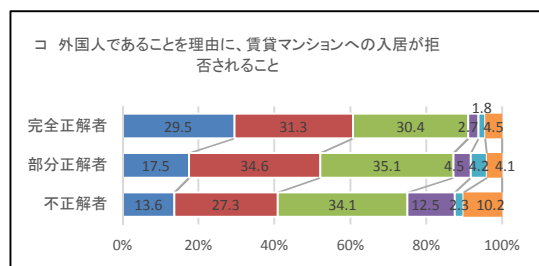
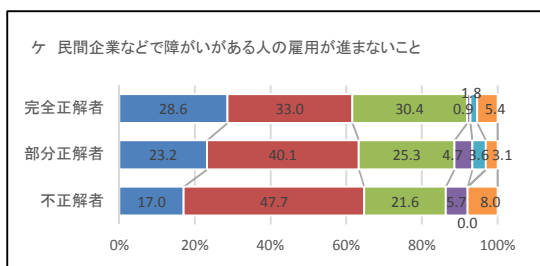
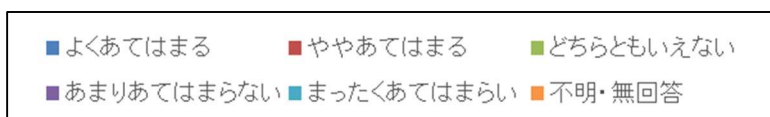
年齢別では、「完全正解者」の割合が29歳以下、30歳代で高く、40歳代と70歳以上で低くなっている。しかし、「完全正解者」の割合が高い29歳以下、30歳代では、「不正解者」の割合も高くなっている。また、「部分正解者」の割合は40歳代が高い。

では、憲法の権利理解別に問2の人権侵害に該当する事象の回答をみることにする。

[図 17 - 1 憲法の権利理解別にみた人権侵害に該当する事象①]



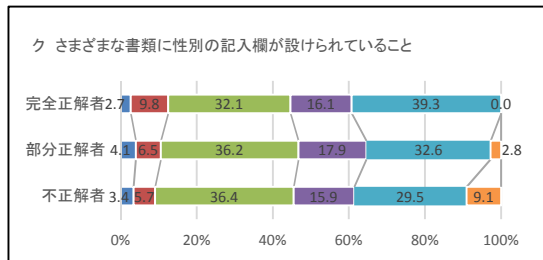
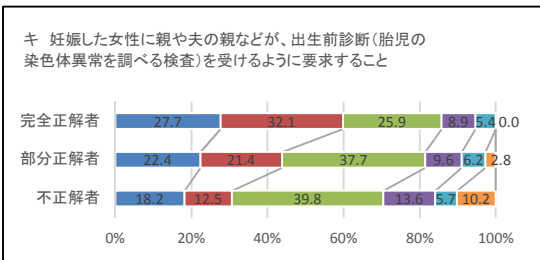
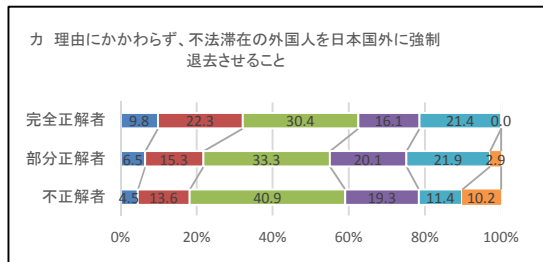
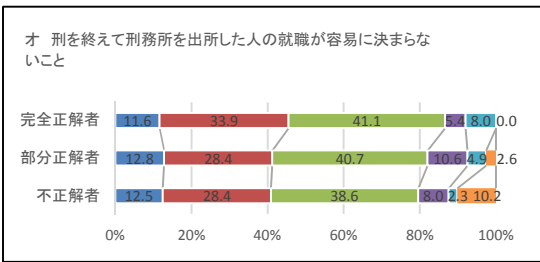
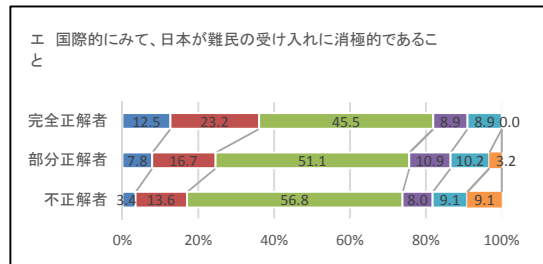
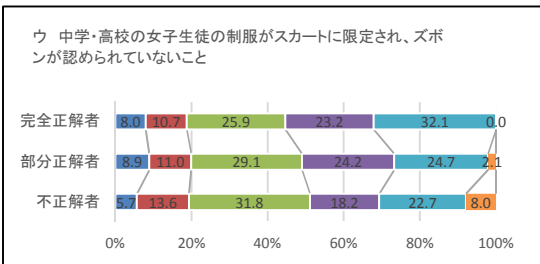
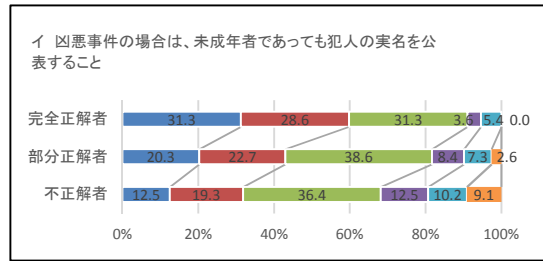
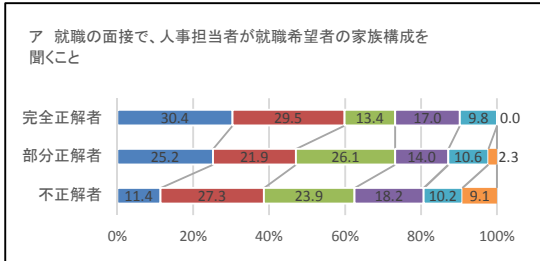
[図 17 - 1 憲法の権利理解別にみた人権侵害に該当する事象②]



「エ 高齢者の就職が困難であったり、労働条件が低くなること」を除く 10 の項目について、「よくあてはまる」の割合は、いずれも完全正解者が最も高くなっている。「よくあてはまる」の割合は、不正解者よりも部分正解者、部分正解者よりも完全正解者のほうが高い。そして、完全正解者の「よくあてはまる」の割合が部分正解者のそれを 20 ポイント以上、上回っているのは、「オ 結婚に際して、相手が同和地区出身者かどうか、身元調査をすること」(21.4 ポイント)、「ク 非嫡出子が結婚に際して不利益を受けること」(24.2 ポイント)で、15 ポイント以上、上回っているのは「ア 女性ということで、同じ勤務年数の男性よりも給与や昇進で低い評価を受けること」(16.9 ポイント)、「キ 犯罪被害者が名前や住所などを報道されること」(15.0 ポイント)である。このように、憲法における国民の権利について、理解が高い人ほど、さまざまな人権にかかわる事象について、人権侵害に当てはまると考える傾向が高いといえる。

つぎに、憲法の権利理解別に問 10 の人権の視点から問題がある事象の回答をみると、つぎのようである。

[図 17 - 2 憲法の権利理解別にみた人権の視点から問題のある事象]



「ウ 中学・高校の女子生徒の制服がスカートに限定され、ズボンが認められていないこと」「オ 刑を終えて刑務所を出所した人の就職が容易に決まらないこと」「ク さまざまな書類に性別の記入欄が設けられていること」については、はっきりした傾向はみられないが、それら以外の5つの項目については、憲法における国民の権利について理解が高い人ほど、新しい人権課題についても理解が高いという傾向がみられる。

このように、憲法における国民の権利に関して、完全正解者の人権意識が高いという傾向がみられた。憲法における国民の権利について理解が高いほど、人権意識が高くなるのか、もともと人権意識が高い人ほど、憲法の権利についても理解が高いのか、どちらであるのかは断定できないが、憲法における基本的人権の学習が人権意識を高めることにつながるといえるのではないだろうか。

問 12 でみたように、学校で差別や人権に関する教育を受けたと回答したのは、62.6%であった。年齢別でみると、59歳までの各年齢層では、それぞれ80%台と高くなっているが、60歳代では50.3%、70歳以上では32.9%であった。そのため、人権教育を受けた経験を持つ人と持たない人との回答内容を比較し、そこから人権教育の効果を考察しようとするなら、836人の総数での比較は適切ではない。なぜなら、総数836人について人権教育を受けた経験の有無別に比較を行うと、60歳未満が67.3%を占める人権教育を受けたという人と、60歳以上が75.8%を占める人権教育を受けていない人との比較になり、年齢による違いのほうが強く出て、人権教育の効果を測ることは、難しくなるからである。そのため、人権教育を受けたと回答した人が8割を占める60歳未満について、人権教育を受けた経験の有無別比較を行うのが適切であるが、60歳未満で人権教育を受けていないと回答したのは60人しかなく、比較分析するには、その数が少なすぎるといえる。そのため、人権教育を受けた経験の有無別比較は行わなかった。

また、「ハートフル・フォーラム」の参加状況別のクロス集計についても、参加したことがある人は50歳以上に集中しており(89.0%を占める)、参加したことがある人とならない人との比較は、50歳以上と50歳未満とに比較と変わらないことになってしまうので、この比較についても行わなかった。